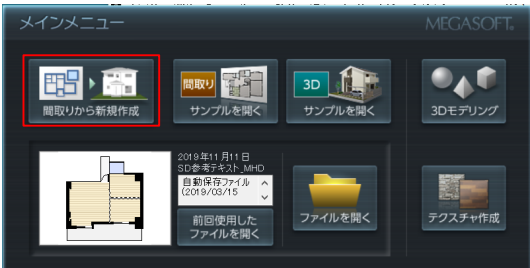
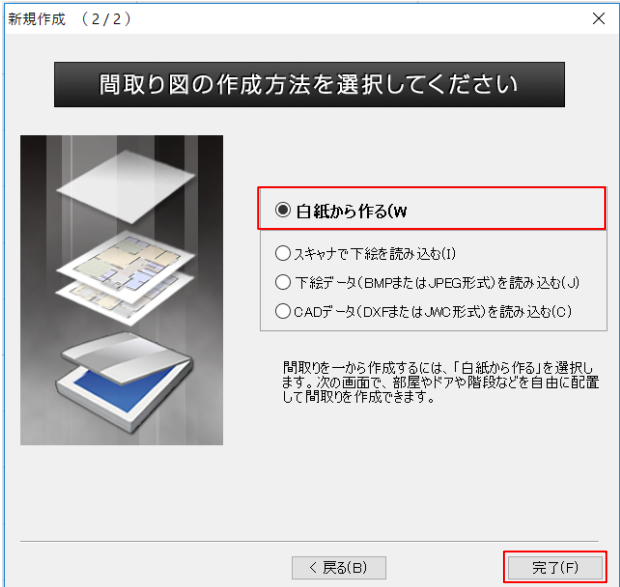


- ・問題文をよく読み、基礎課題と応用課題の求める内容の違いをよく理解しましょう。  
基礎課題：照明器具、造作家具、基礎課題で指定された家具  
応用課題：ラグ、ウインドートリートメント、TV、冷蔵庫などの添景、インテリア小物、アート、グリーン、人物
- ・インテリアスタイルを統一する（和風ナチュラル）
- ・提出データのファイル名は指示されたものにする

<div>Step</div> <div>ソフトの起動</div>	<p>ソフトを起動するとメインメニューが表示されます。 「間取りから新規作成」を選びます。</p> 
-----------------------------------	--

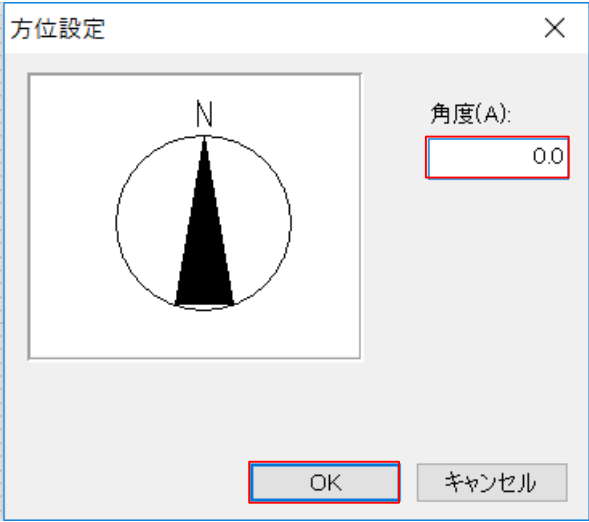
<div>Step</div> <div>基本単位の設定</div>	<p>「メーターモジュール」にチェックを入れ、「次へ」をクリックします。</p> 
------------------------------------	--

<div>間取り図の作成方法を選択する</div>	<p>「白紙から作る」を選択し、完了をクリックすると、新規作成画面が開きます。</p> <p>※平面図を下絵にすると、ガイド線や部屋の配置などの作業がしやすくなるので、ここで平面図を下絵データとして読み込んでもよいでしょう。 読み込んだ下絵が表示されたら、寸法・位置・傾きの補正をしましょう。</p> 
---------------------------	---

Step 1

方位設定

メニューバーの「設定」>「方位設定」で、方位の設定をします。



Step 1

立体化設定

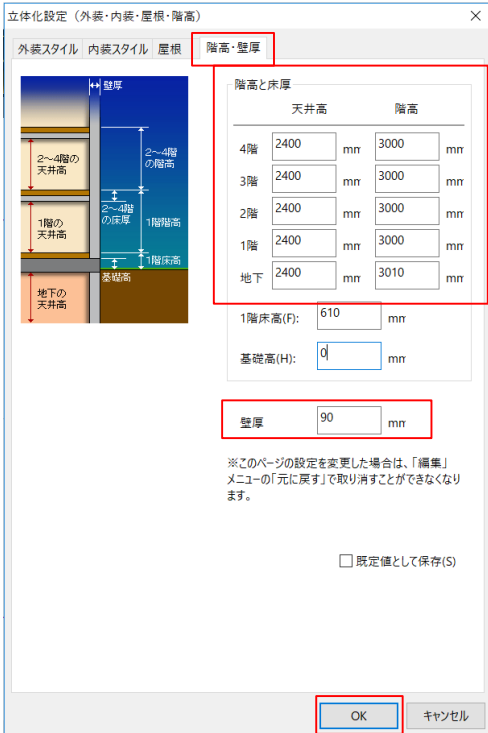
メニューバーの「設定」>「立体化設定」で、内装、屋根、階高などの設定をします。



内装スタイルタブ／  
・種類：ナチュラル  
・スタイル：  
イメージに合うものを選択  
ここでは「ナチュラル02」を選択



屋根タブ／  
・「敷地、基礎、屋根を生成しない」  
にチェック



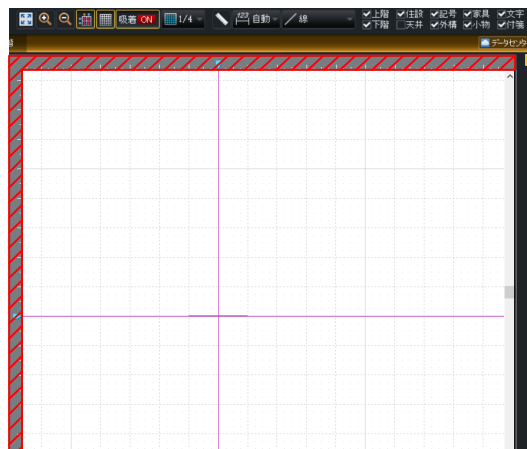
壁高・壁厚タブ／  
・天井高：2400  
・階高：3000に設定。  
・壁厚：90（間仕切壁の数値に設定。  
外壁部分は壁編集で壁厚変更）

## Step

## ガイド線を引く

平面図を参照しながら、部屋を配置するためのガイド線を引きます。ここでは主要なガイド線のみを引きます。

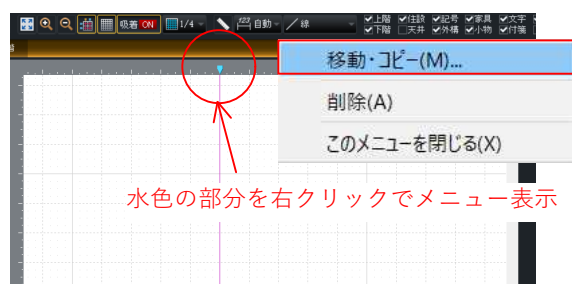
赤い斜線で示した目盛がふつてある部分をクリックすると、ガイド線を追加できます。



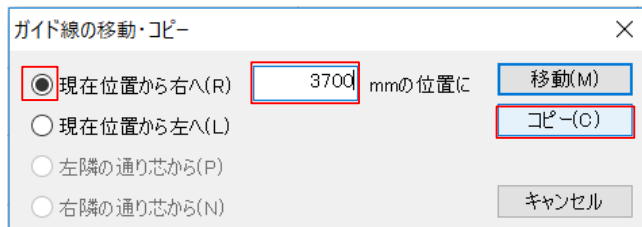
## Step

## ガイド線の移動・コピー

ガイド線の水色の部分を右クリックし、「移動・コピー」を選択。「ガイド線の移動-コピー」ダイアログで数値を指定して、ガイド線を移動したりコピーすることができます。

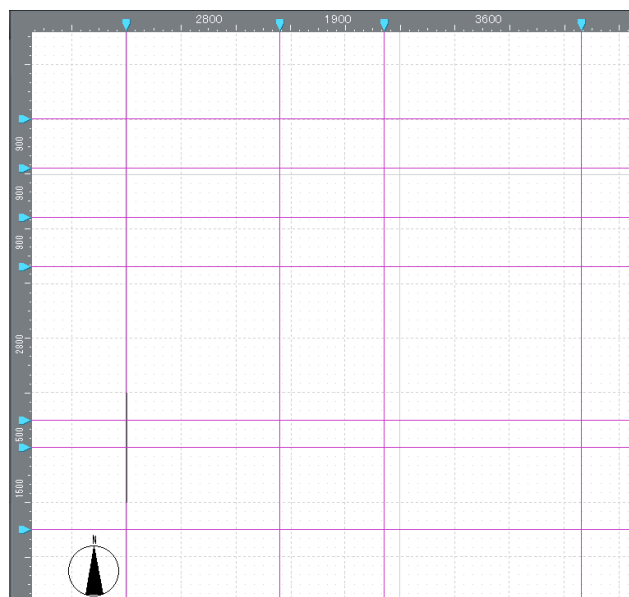


水色の部分を右クリックでメニュー表示



## Step

主要なガイド線が引けました。



## Step

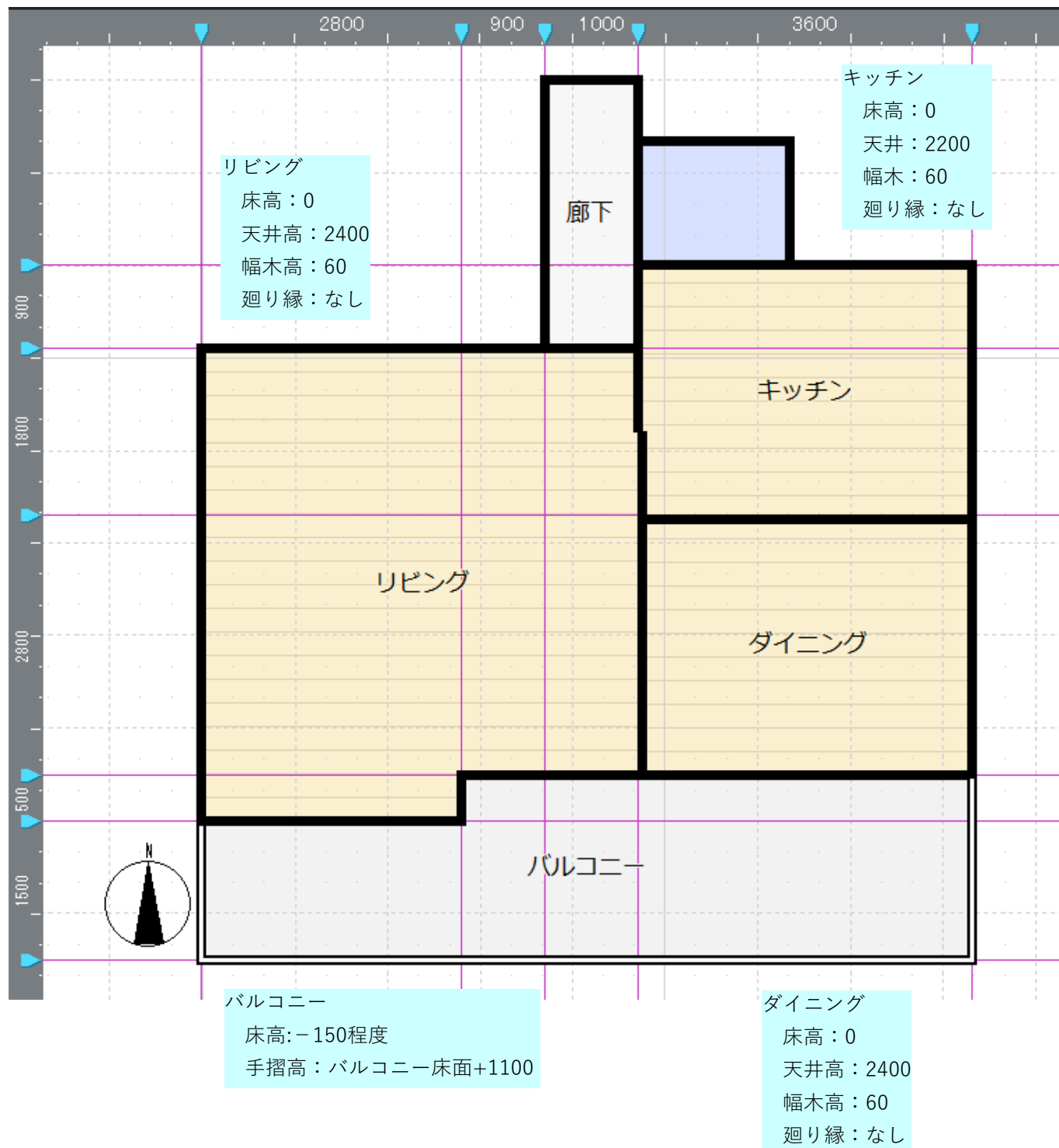
部屋を配置 (詳細は次ページより)

ポイント：

平面図の寸法に合わせて部屋を配置した後、

床や壁のテクスチャ貼り分け位置、キッチンの天井段差の位置に合わせて部屋の調整を行います。

- ・リビングとダイニングは、床のステンレス見切りのライン、
- ・キッチンとリビング／ダイニングは天井段差のラインに合わせて部屋を作成します。



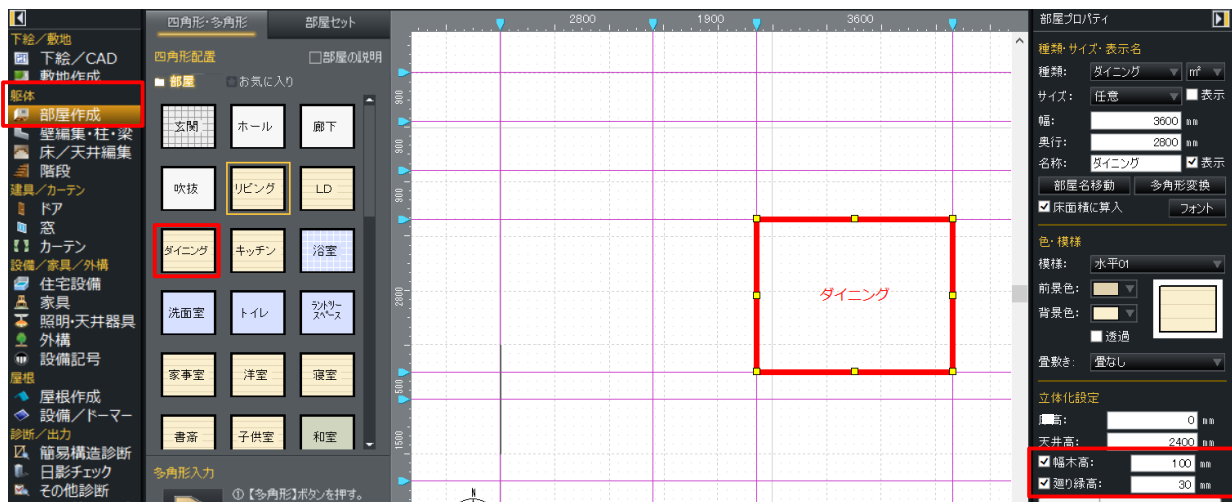


## Step

## 四角形で部屋を配置する

平面図の寸法に合わせて部屋を配置します。

〔躯体〕の「部屋作成」＞「四角形・多角形タブ」から、該当する部屋を選択して配置し、部屋プロパティの立体化設定で、幅木・廻り縁の有無や高さを設定します。

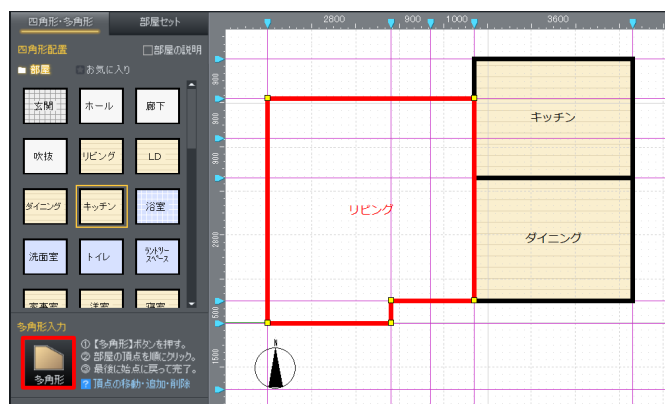


## Step

## 多角形で部屋を配置する

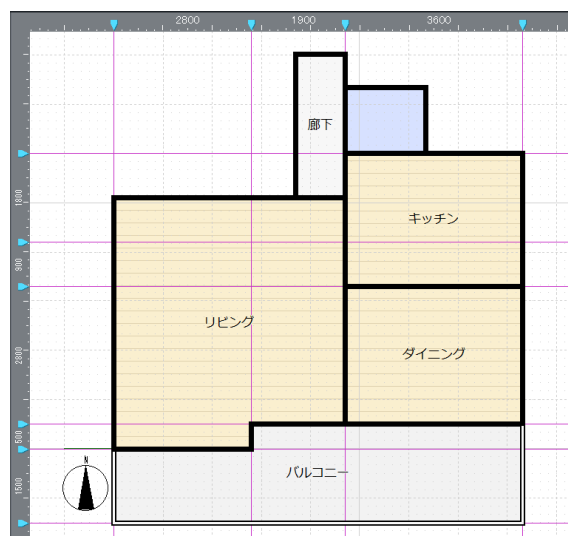
多角形入力をクリックして、部屋の頂点を順にクリックしていきます。

最後に始点に戻ってクリックすると、「部屋種類」ダイアログが表示されるので、部屋の種類を選択してOKをクリックします。



## Step

部屋が配置できました。



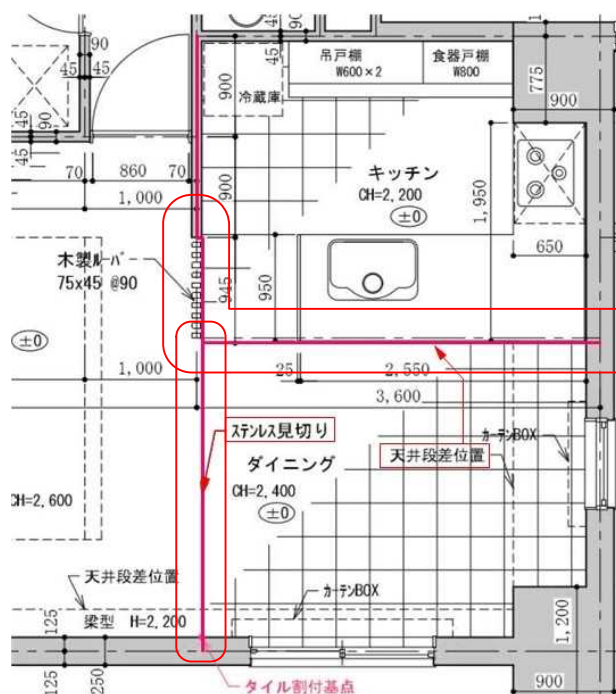
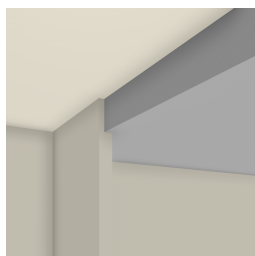
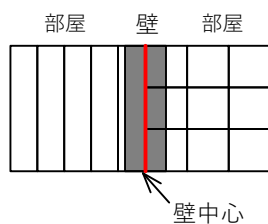
## Step

## 部屋の変形

テクスチャの切り替え位置、天井段差の位置に合わせて、部屋を変形します。

※参考：

壁中心が部屋の境となるので、テクスチャを部屋ごとに貼り分けた場合は、壁を削除すると、テクスチャは壁中心の位置で切り替わります。天井の高さに差がある部屋の間の壁を削除した場合は、壁中心で天井の高さがかわります。



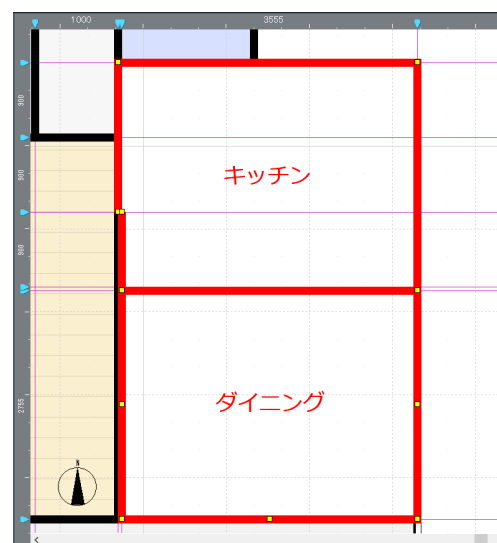
## Step

## 部屋を多角形に変換

ダイニングを、床のステンレス見切りのラインと、キッチンの天井段差位置に合わせます。

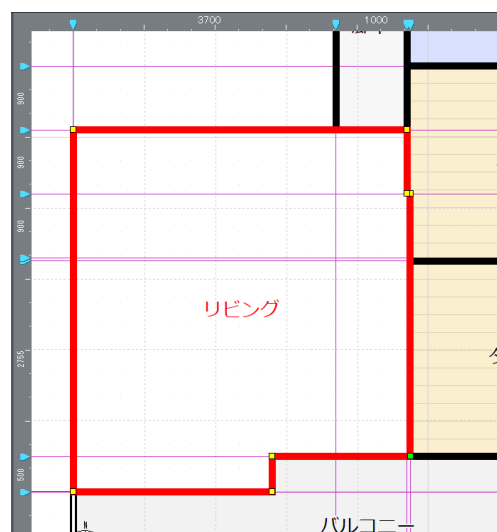
キッチンは、ルーバー部分とダイニング側の天井段差のラインに合わせます。

四角形で作成した部屋を多角形にするには、部屋を選択状態にして右クリック>「多角形に変換」を選択して、頂点を追加しながら変形します。



## Step

最後にリビングを、変形したダイニングとキッチンに合わせて変形します。



## Step

## 壁削除

不要な壁を削除します。

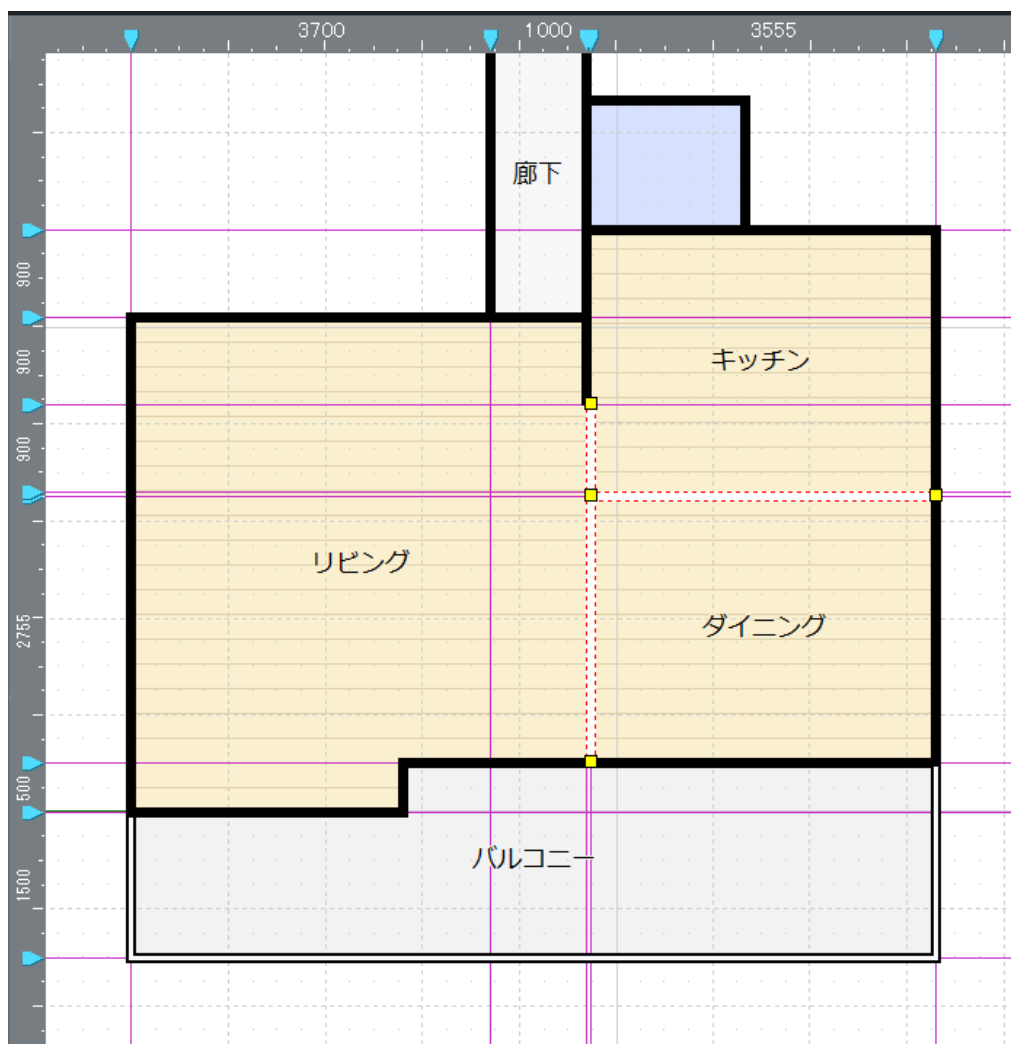
〔躯体〕の「壁編集・柱・梁」>壁開口「壁削除」を選択します。



## Step

## 削除する壁を選択

削除したい壁をクリックで選択します



## Step

外壁部分の壁厚を変更する

「壁編集・柱・梁」>壁厚変更の「壁厚変更」を選択し、壁厚を変更したい壁をクリックして、壁厚のプロパティダイアログで厚さを入力。



A側 : 125、B側 : 125

壁厚のプロパティ

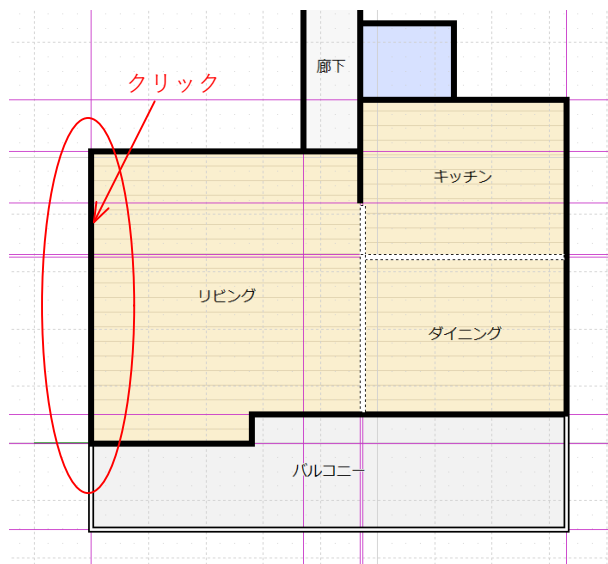
A側の壁厚: 125 mm

B側の壁厚: 125 mm

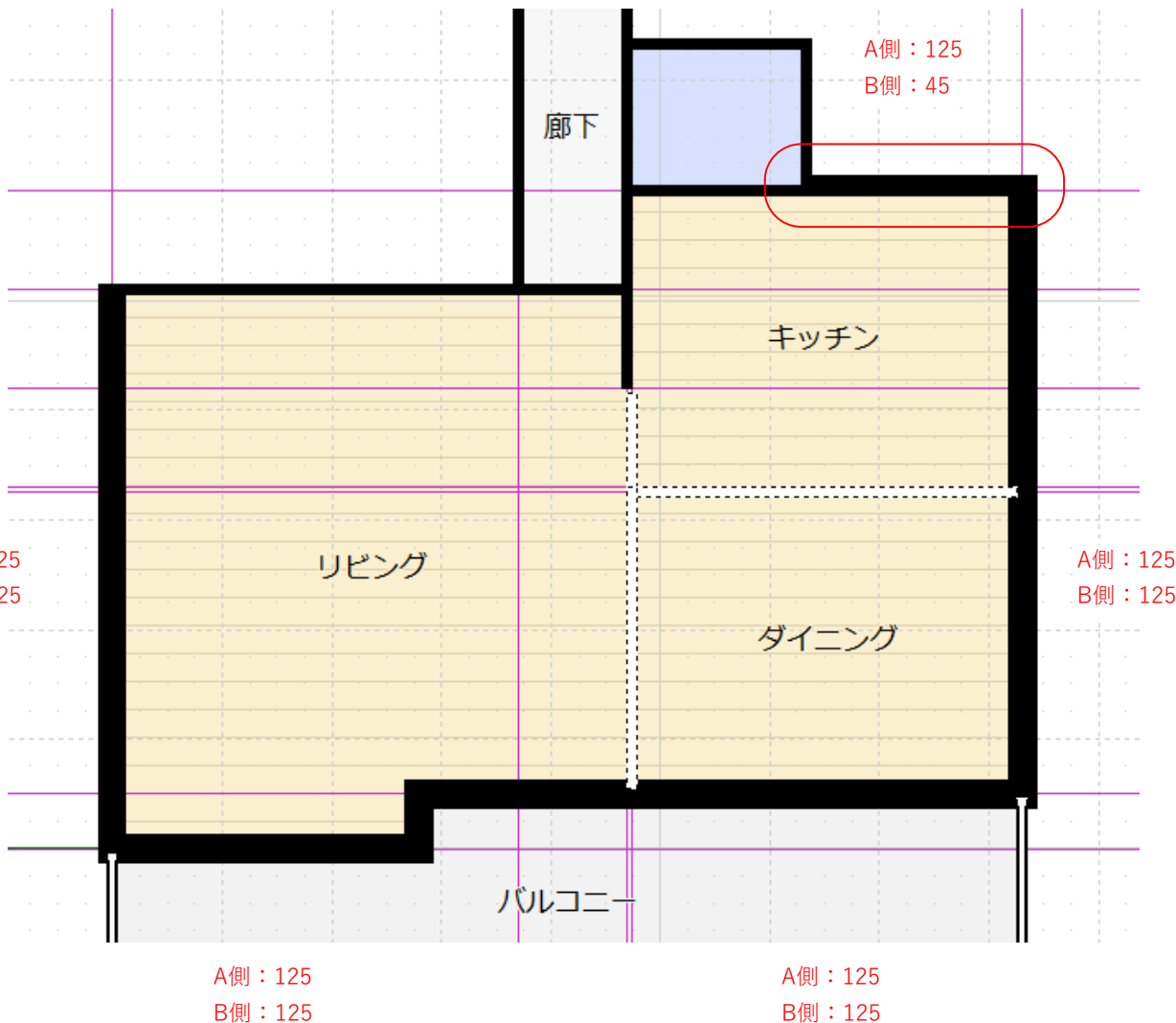
☐ 既定値として保存(D)

出荷時の設定に戻す(F)

OK キャンセル



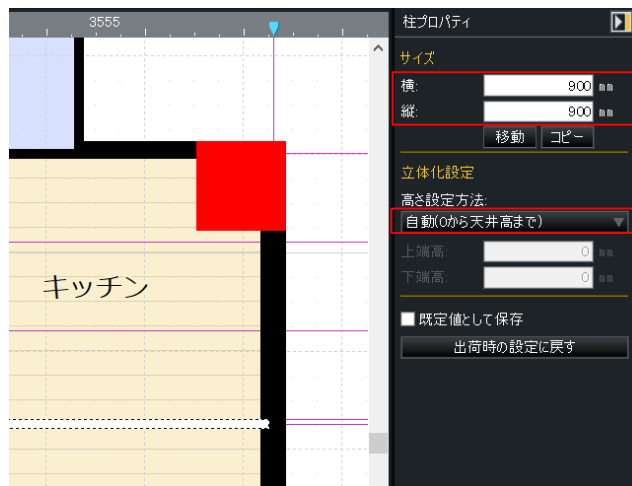
## Step

A側 : 125  
B側 : 125A側 : 125  
B側 : 125A側 : 125  
B側 : 125

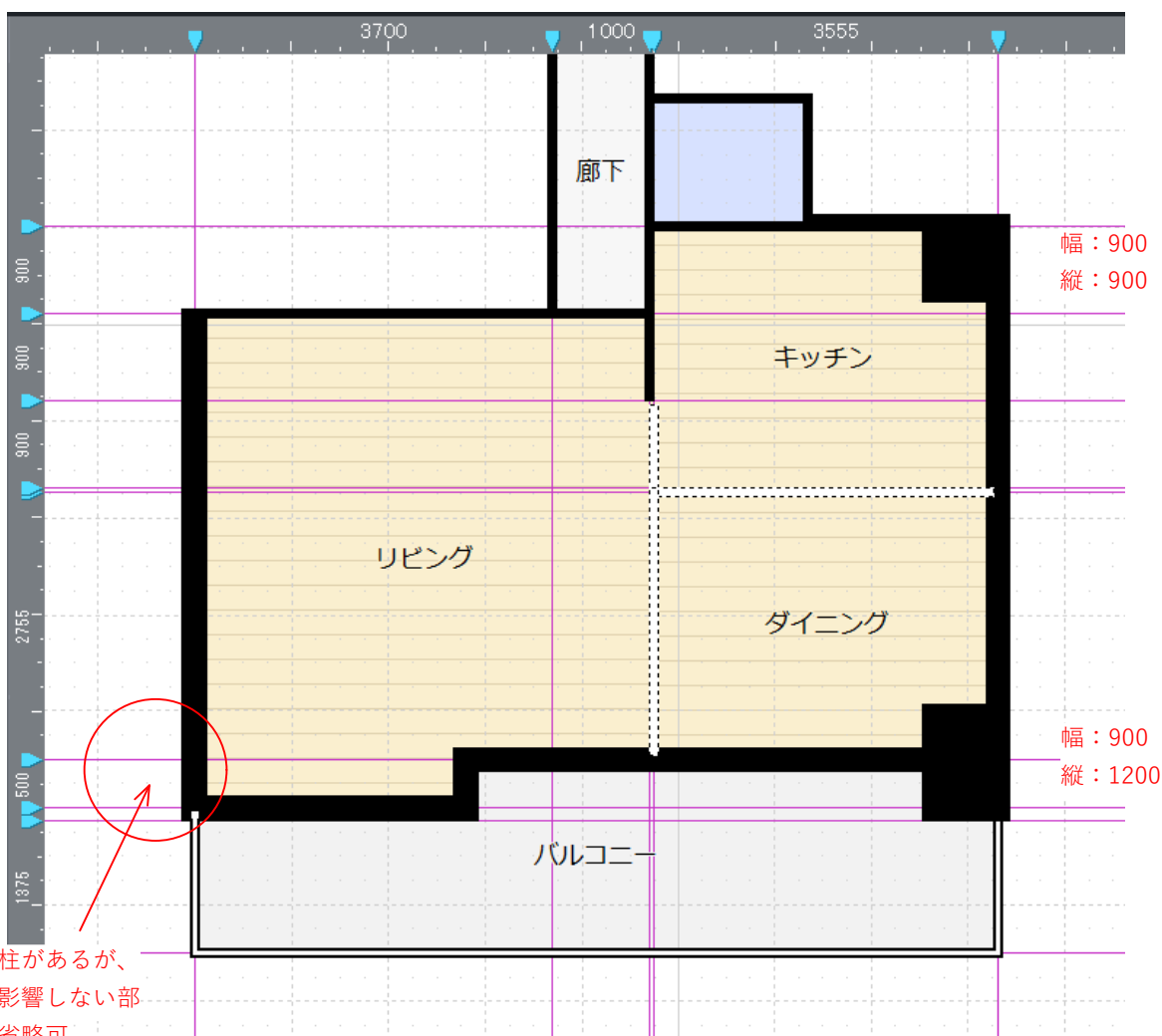
## Step

「壁編集・柱・梁」>柱配置の「四角柱」を選択し、柱を配置します。

柱プロパティの、柱サイズに数値を入力して、立体化設定の高さ設定方法を選択します。

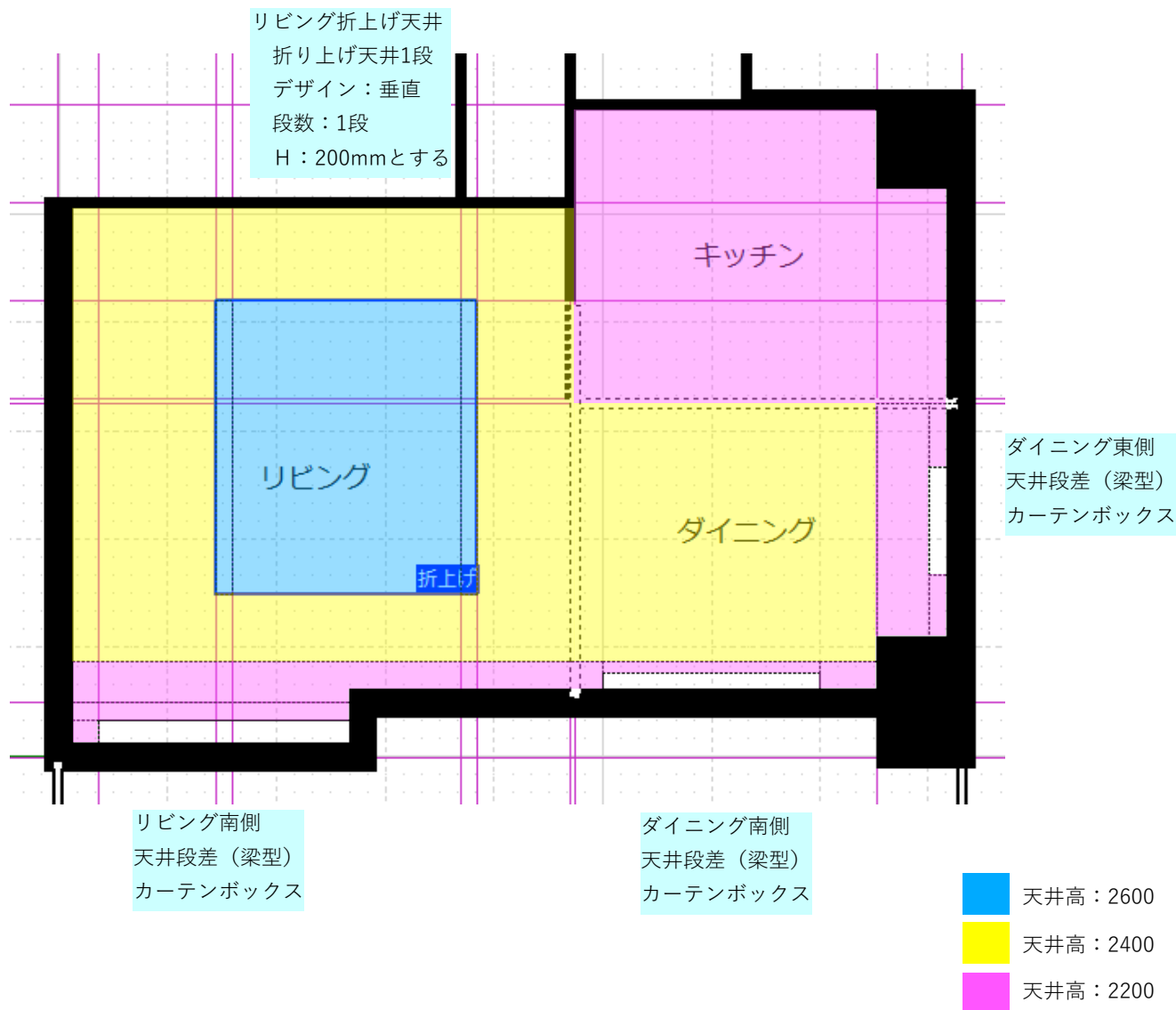


## Step



## Step

天井を編集する

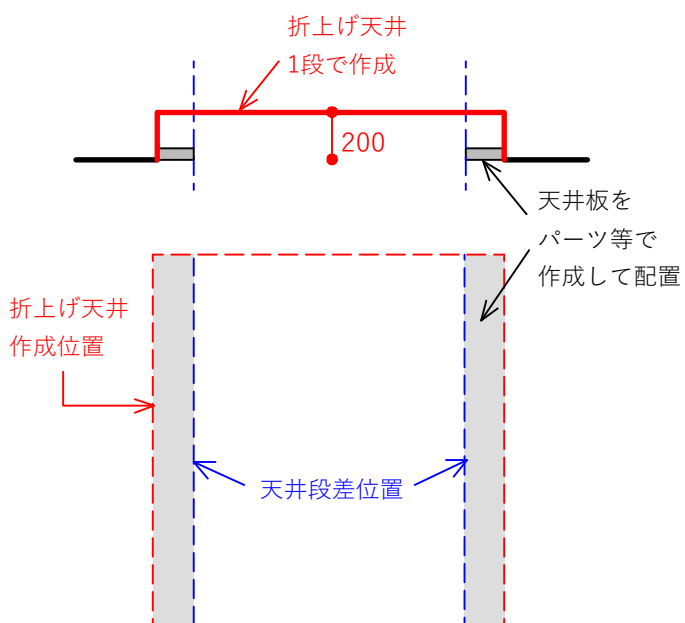


## Step

## ポイント

リビングの折上げ天井は、右図のように天井編集で折上げ天井を作り、モデリングなどで作成した天井板パーツを組み合わせて表現します。

※天井編集でもコーブ照明用のデザインはできますが、天井段差の四方に照明が付くため、今回は組み合わせて表現します。



Step

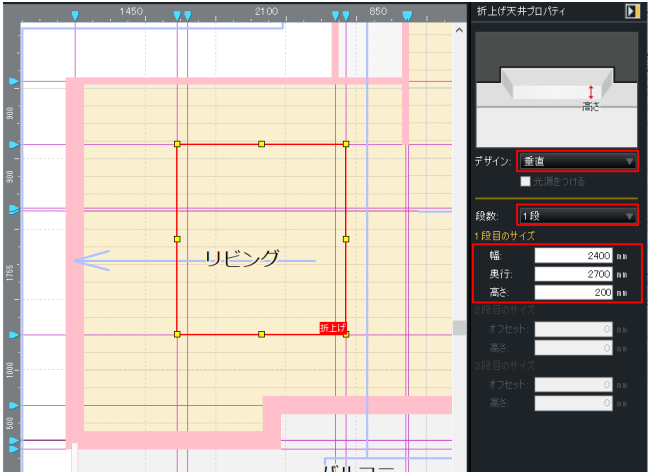
折上げ天井

〔躯体〕の「床・天井編集」>「天井編集タブ」で「折上げ天井」1段を選択する。



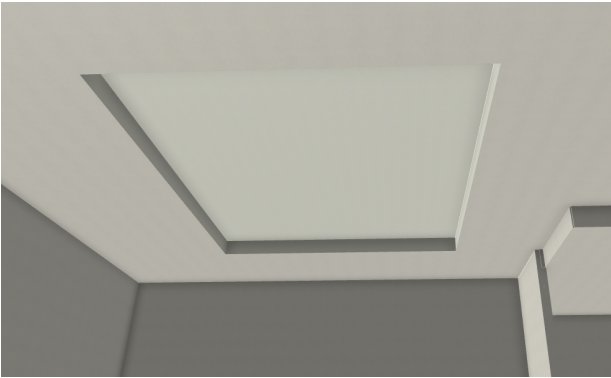
Step

天井段差を配置し、折上げ天井プロパティで、デザイン・段数・サイズを入力します。



Step

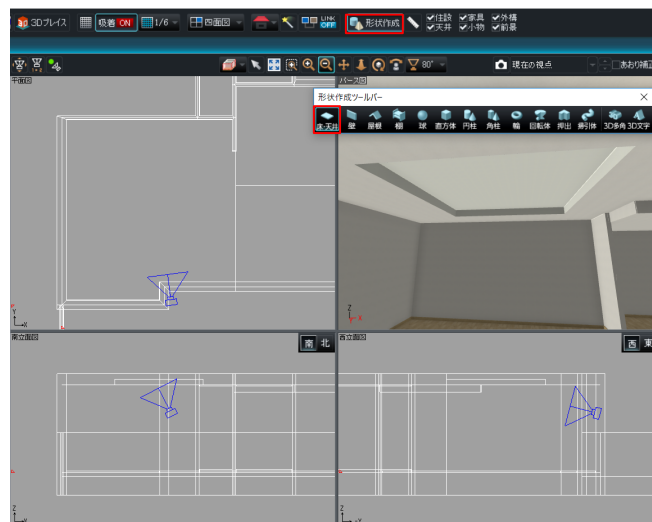
1段の天井段差ができました。



## Step

次に、立体化画面で形状作成ボタンをクリックします。

形状作成バーで「床・天井」を選択します



## Step

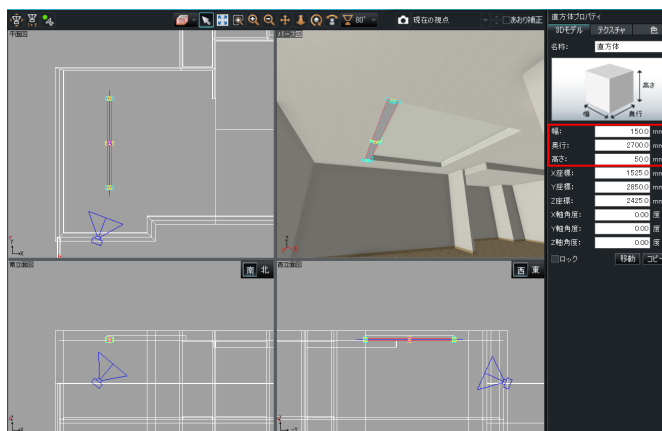
画面が4面図に切り替わります。

平面図に適当なサイズの四角形を描くと、右側に直方体プロパティが表示されるので、サイズを入力します。

W150程度（指定なし）、D2700、H50程度（指定なし）

配置位置を調整します。

配置高さは床から2400とし、天井面に揃えて配置します。



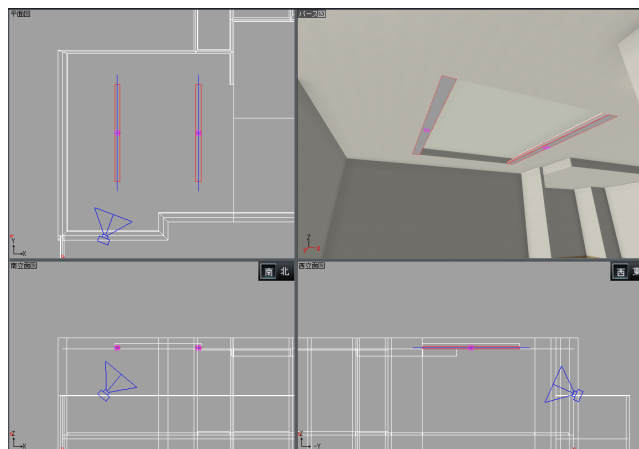
## Step

作成したパーツを選択し、隣接コピーして、反対側にも同じものを配置します。



コーブ照明用の天井段差ができました。

（ライン照明は、12 照明器具配置で配置します。）





## Step

## 梁型・カーテンボックス

リビング・ダイニングの梁型・3ヶ所のカーテンボックスは、天井編集では段差の設定ができないため、梁などを組み合わせて表現します。

## 梁型

天井段差位置に合わせて梁などを配置

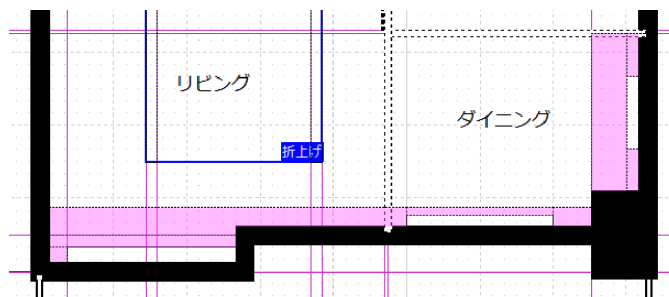
高さ設定：天井につける（床からの高さ：2200）

梁高（梁成）：200

## カーテンボックス

梁などを配置

サイズ：指定なし（妥当と思われるサイズで作成）



## Step

躯体の「壁編集・柱・梁」>梁配置「梁」をクリックします

梁を配置して、サイズを調整します。



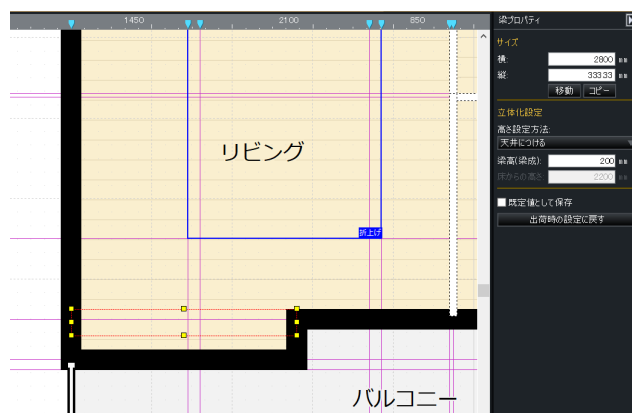
## Step

梁を選択し、梁プロパティの立体化設定で、

高さ設定：天井につける

梁高（梁成）：200 とします。

同様に、指定された梁型・カーテンボックスの形状になるように梁などを配置していきます。



## Step

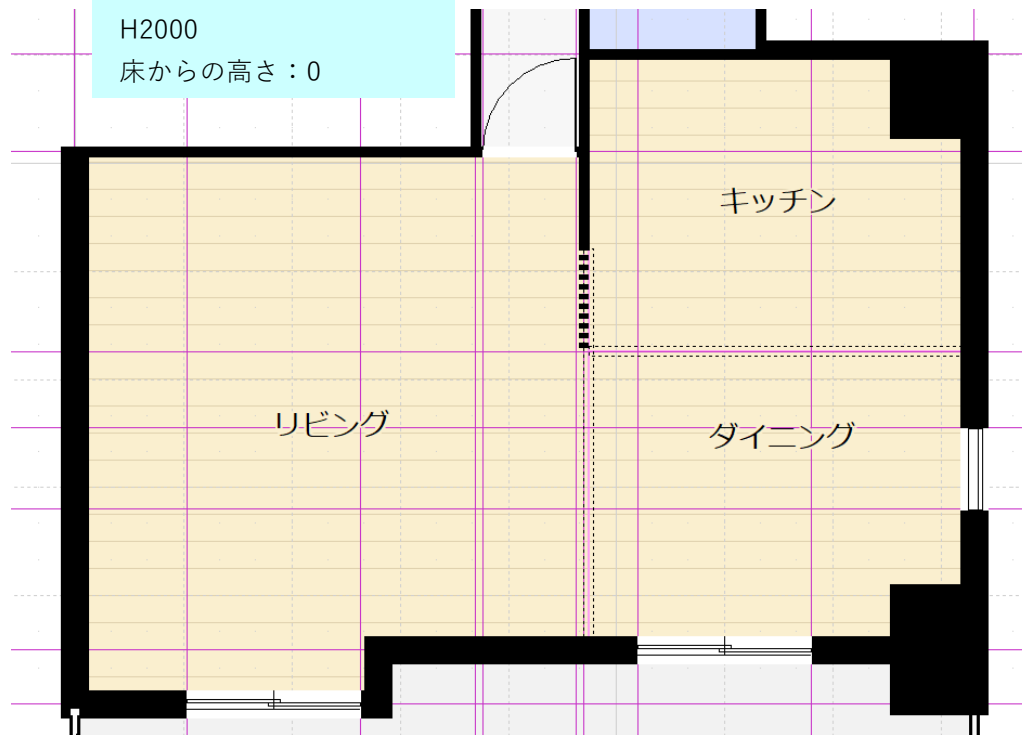
## リビング片開戸

ドア&gt;室内ドア&gt;室内片開き

W860

H2000

床からの高さ：0



## ダイニング上下窓

窓&gt;デザイン窓&gt;装飾窓

W750

H1000

床からの高さ：1100

## リビング掃出窓

窓&gt;掃出し窓&gt;掃出し2枚

W1600

H2100

床からの高さ：0

## ダイニング掃出窓

窓&gt;掃出し窓&gt;掃出し2枚

W1600

H2100

床からの高さ：0

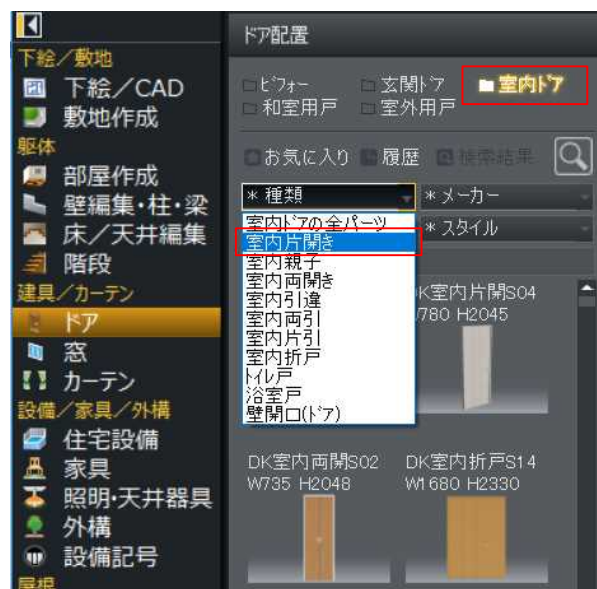
## Step

## ドアの配置

ドアをパーツから選んで配置します。

## 建具／カーテン&gt;ドア

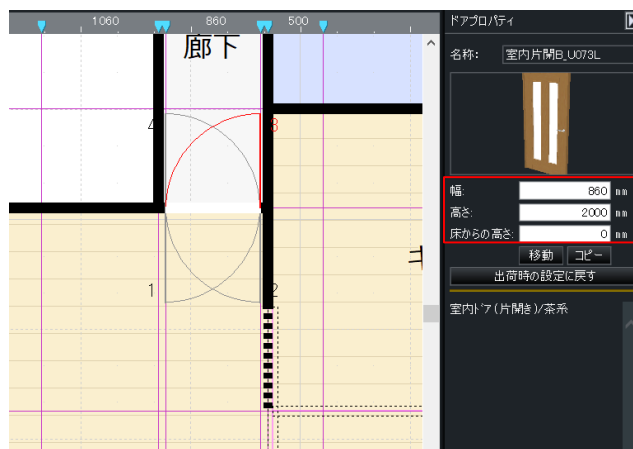
ドアの種類やサイズを指定し、パレットに表示されたパーツから、配置するドアを選択し、配置したい場所の壁芯に吸着させてクリックします。



## Step

ドアの開閉方向を指定します。

ドアプロパティでサイズを変更します。



## Step

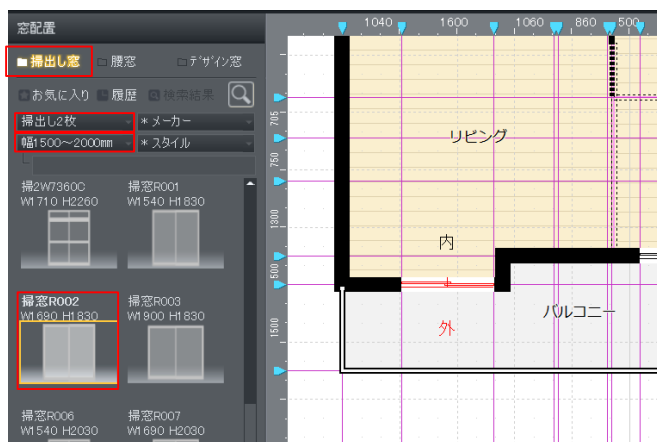
## 窓の配置

窓をパーツから選んで配置します。

建具／カーテン＞窓

窓の種類やサイズを指定し、パレットに表示されたパーツから、配置する窓を選択し、配置したい場所の壁芯に吸着させてクリックします。

窓の内外を指定します。



## Step

窓プロパティでサイズを変更します。

他の箇所も同様に建具を配置していきます。



Step

1 パーツ作成

各パーツを作成します。

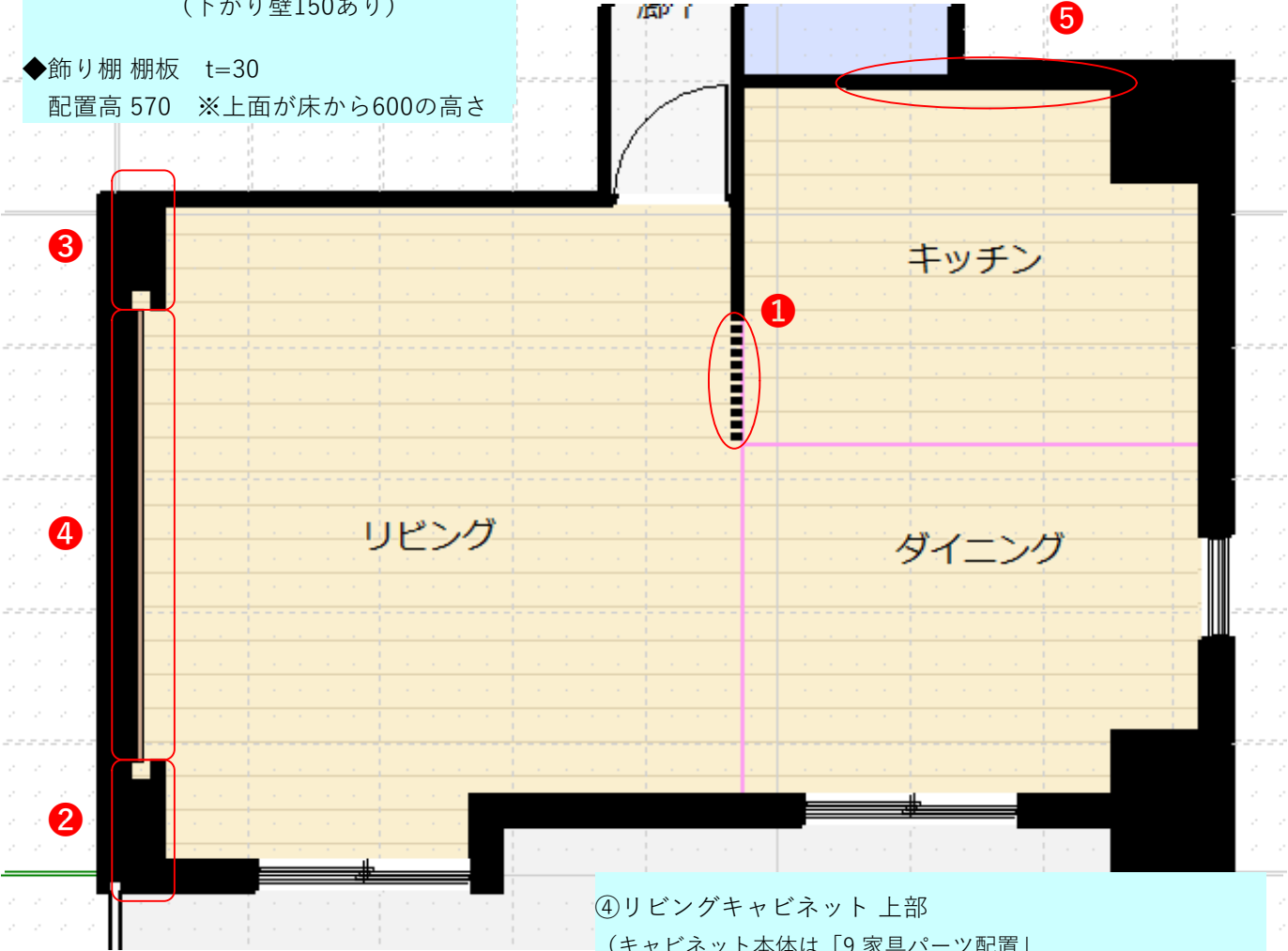
③飾り棚

- ◆全体  
W780  
D250  
H2400
- ◆ニッチ  
W350  
D200程度（指定なし）  
H950 + 棚板t=30  
（下がり壁150あり）

- ◆飾り棚 棚板 t=30  
配置高 570 ※上面が床から600の高さ

- ①木製ルーバー
- W75  
D45  
H2400  
@90×10本

- ⑤キッチン（タイル壁部分）
- W2000  
H2200
- ※壁のテクスチャを貼り分けることができないので、タイル部分の壁を薄く作り、前面に出す。



②飾り棚

（建築化照明の埋込みは「11照明配置」で解説）

- ◆全体  
W750  
D250  
H2200
- ◆ニッチ  
W350  
D200程度（指定なし）  
H950 + 棚板t=30  
（下がり壁150あり）  
配置高 570

- ◆飾り棚 棚板 t=30  
配置高 570 ※上面が床から600の高さ

- ④リビングキャビネット 上部
- （キャビネット本体は「9 家具パーツ配置」  
建築化照明の埋込みは「10照明配置」で解説）

- ◆タイル壁部分  
W3400  
D10程度（指定なし）  
H1850
- ◆棚板  
W600  
D150程度（指定なし）  
H50  
配置高 770・1200
- ◆建築化照明埋込み部分
- ・ 水平部分  
W3400  
D200程度（指定なし）  
H50程度（指定なし）  
配置高 1850

・ 幕板  
W3400  
D50程度（指定なし）  
H150  
配置高 1850

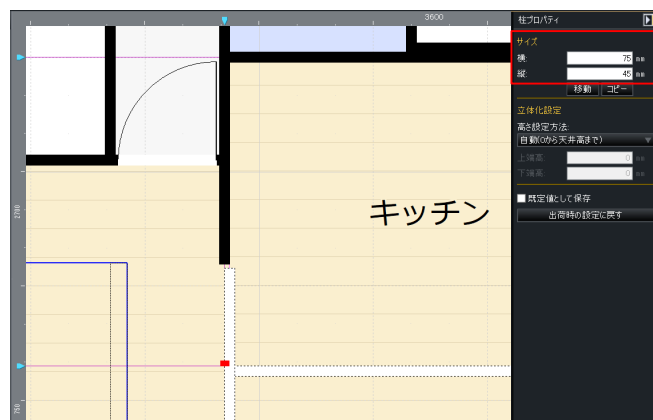
## Step

## 木製ルーバーの作成

柱を利用して木製ルーバーを作成します。

躯体／壁編集・柱・梁＞柱配置／四角柱を選択し、クリックして柱を配置します。

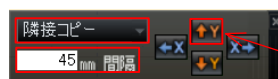
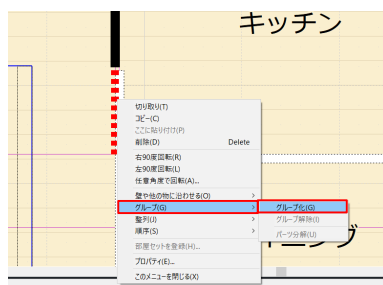
サイズを入力し、柱を配置したい場所に移動します。



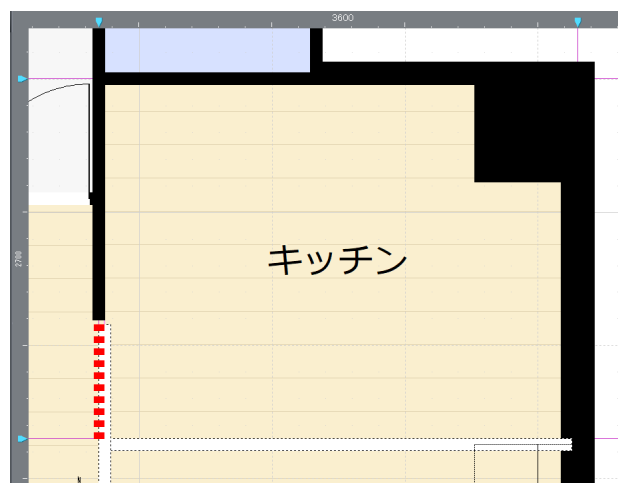
## Step

配置した柱を選択し、90mm間隔で10本となるよう隣接コピーします。

作成したルーバーは、柱10本まとめて選択し、右クリック＞グループ＞グループ化しておきます。



必要な本数分  
矢印ボタンをクリック



## Step

木製ルーバーが作成できました。



## Step

## 飾り棚の作成

飾り棚は、壁・ニッチ・パーツ・形状作成を組み合わせで作成します。

躯体／壁編集・柱・梁＞壁を選択し、②飾り棚の位置に、図のように2枚の壁を配置します。

## 壁 1

W150程度（指定なし）

H：床から天井まで

壁厚：100程度（指定なし）

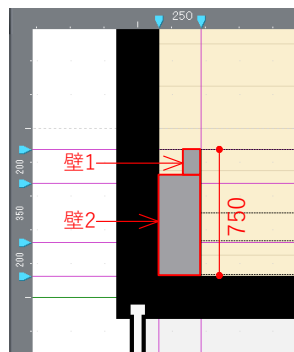
## 壁 2

W600程度（指定なし）

H：床から天井まで

壁厚：250

※壁 1 + 壁 2 の幅の合計が750になるように作成



②飾り棚



## Step

立体化画面で、設備・家具・外構の「ニッチ／トリム」＞壁装飾タブ＞ニッチを選択します。



ニッチを作成する壁上でクリックします。  
ニッチプロパティにサイズや配置高さを入力し、枠ありのチェックを外します。

指定された位置にニッチを移動します。



## Step

飾り棚は、パーツのカウンターなどをサイズ変更して利用します。

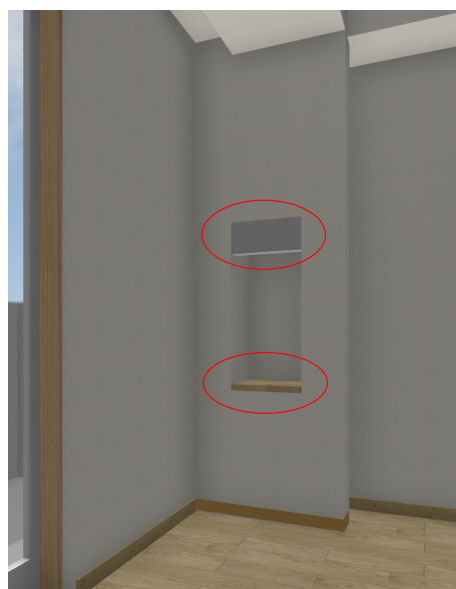
下がり壁の部分は形状作成で作成します。

W350

H150

D50程度（指定なし）

配置高さ1400 とします



## Step リビングキャビネット（上部）の作成

壁・突き出し・形状作成を組み合わせるリビングキャビネットの上部を作成します。

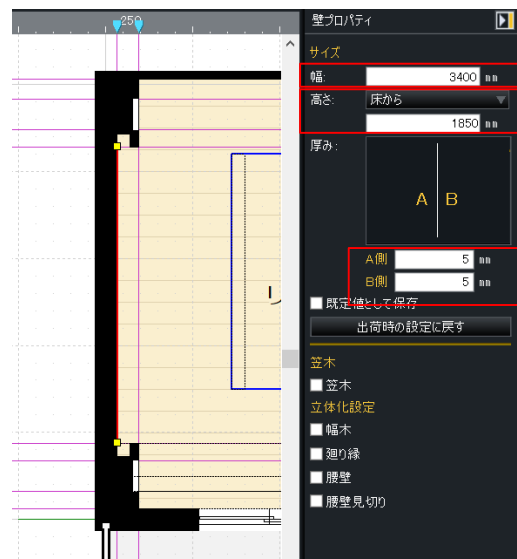
（※リビングキャビネット本体は「9 家具・パーツ配置」で配置します。）

タイル部分を壁で作成します。

躯体／壁編集・柱・梁＞壁を選択し、10mm程度の薄い壁を作成し、部屋の壁に沿わせます。

幅：3400

高さ：「床から」1850



## Step

棚板2枚と、建築化照明埋込の水平部分を配置します。

立体化画面で、設備・家具・外構の「ニッチ／トリム」＞壁裝飾タブ＞突き出しを選択します



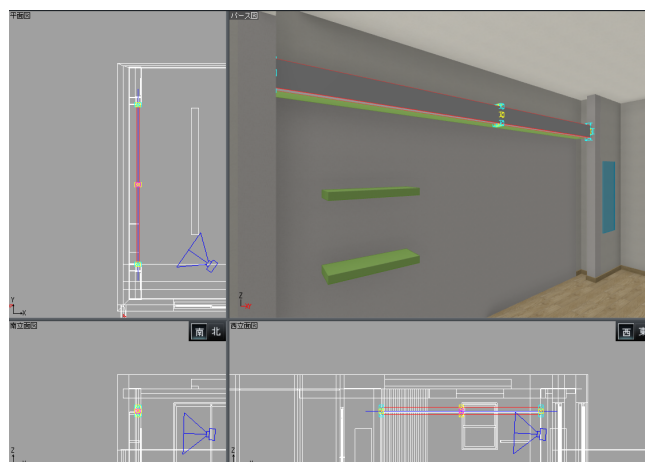
突き出しを配置したい壁の上でクリックします。  
突き出しプロパティで、サイズや配置高さなどを入力します。  
もう1枚の棚板は隣接コピーします。

建築化照明の水平部分も同様に作成します。



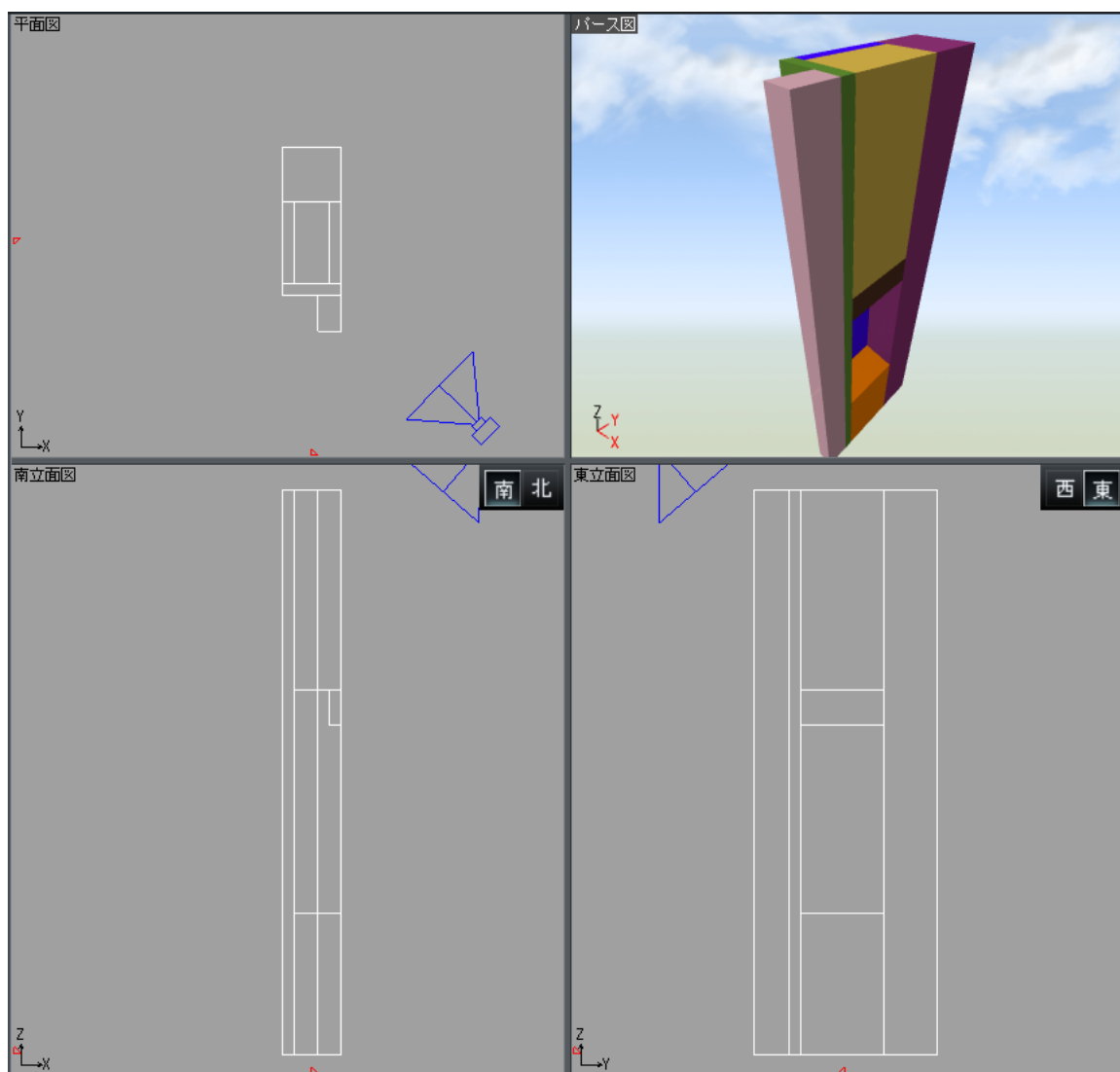
## Step

建築化照明の幕板を、形状作成で作成し、配置します。



## Step

## 立方体で飾り棚を作成する方法



飾り棚は、立方体を組み合わせて作成することもできます。

右側の飾り棚は、下記の7つのパーツに分けて作成します。

- |      |                               |
|------|-------------------------------|
| ピンク  | W150、D100、H2400               |
| 緑    | W 50、D250、H2400               |
| 青    | W350、D 50、H2400               |
| 黄色   | W350、D200、H 850、床から1550の高さに配置 |
| オレンジ | W350、D200、H 600               |
| 紫    | W230、D250、H2400               |
| 茶色   | W350、D 50、H 150、床から1400の高さに配置 |

※棚板は、パーツのカウンターを利用し、W350、D200、H30にサイズ変更して、床から600の高さに配置します。

左側の飾り棚も同様に作成します。



Step

パーツを利用して住宅設備・家具を配置

ソフトに登録されているパーツを利用して、基礎課題で指定されている住宅設備や家具を配置します

⑤リビングキャビネット

W3400  
D450  
H350  
配置高：0

⑥リビングテーブル

W680  
D680  
H170  
配置高：0

②背面カウンター

W2000  
D500程度（指定なし）  
H850  
配置高：0

③吊戸棚×2

W600  
D350程度（指定なし）  
H700  
配置高：1500

④食器戸棚

W800  
D350程度（指定なし）  
H1350  
配置高：850

①システムキッチン（L型）

W2575  
D1950  
H850  
配置高：0

レンジフード：  
H550  
配置高：1650

Step

住宅設備配置

〔設備/家具/外構〕の「住宅設備」から、キッチン>L形キッチンから、条件に適したパーツを選択して配置し、プロパティでサイズを調整します。

下絵/敷地

下絵/CAD

敷地作成

躯体

部屋作成

壁編集・柱・梁

床/天井編集

階段

建具/カーテン

ドア

窓

カーテン

設備/家具/外構

**住宅設備**

家具

照明・天井器具

外構

設備記号

屋根

屋根作成

設備/ドーマー

住宅設備配置

キッチン

洗面

トイレ

バスルーム

ハリアフリー

お気に入り

履歴

検索結果

L型キッチン

\*メーカー

幅2500~3000mm

\*スタイル

CUキッチンT25

CUキッチンT26

CUキッチンT27

CUキッチンT28

CUキッチンT41

CUキッチンT42

廊下

キッチン

ダイニング

パーツプロパティ

名称: CUキッチンT27

幅: 2740.00

高さ: 2200.04

奥行: 1950.00

回転: 180 度

移動

コピー

表示色:

詳細設定

クリナップ株式会社 Web

クリナップ L型/W2740×D1950/扉/カスタムリコート

## Step

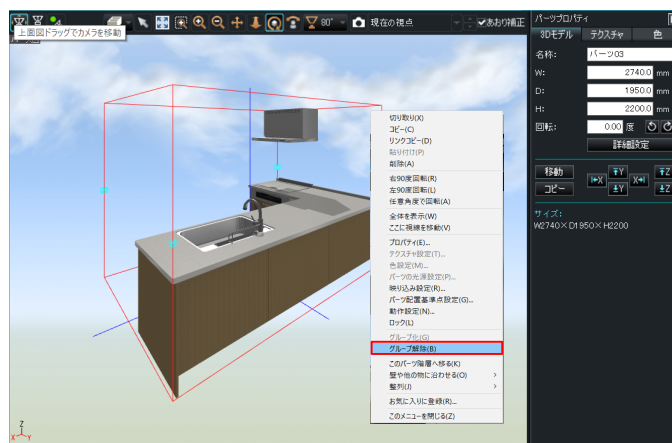
## パーツの編集

レンジフードなど、グループ化されたパーツの一部をサイズ調整する場合は、立体化画面でパーツを選択して右クリック>「このパーツ階層へ移る」を選択します。



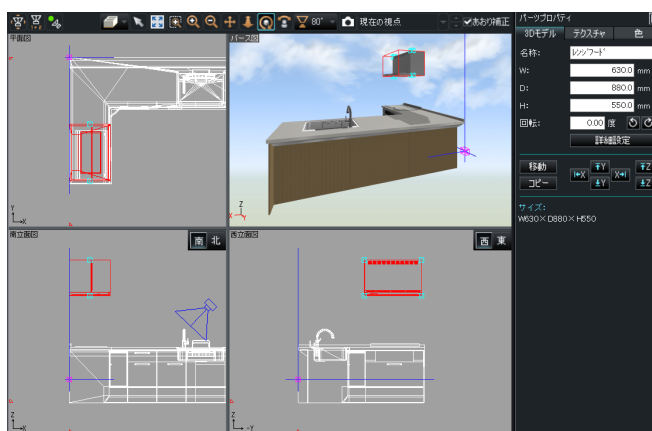
## Step

パーツ階層で右クリック>「グループ解除」すると、それぞれのパーツを個別に編集できるようになります。



## Step

編集が終わったら、パーツを再度グループ化し、元の画面に戻ります。



Step

家具配置

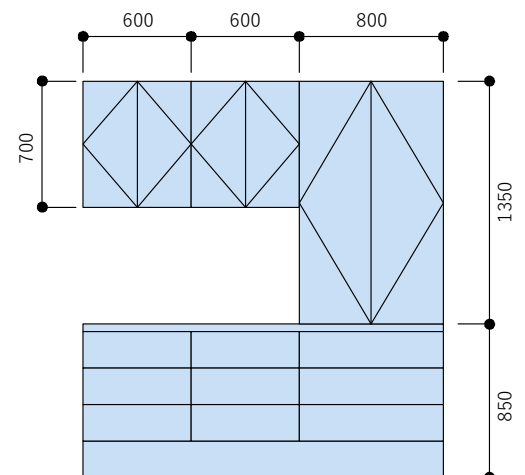
リビングキャビネットは、〔設備/家具/外構〕の「家具」から、リビング>リビングボードを選択し、適したパーツを選択して配置し、プロパティでサイズなどを調整します。



Step

キッチンの背面は、サイズ・扉の割付の指示に従って配置します。

※吊戸棚・食器棚・背面カウンターを組み合わせる表現するか、システムキッチンと同様にパーツを配置してパーツ階層で編集します。

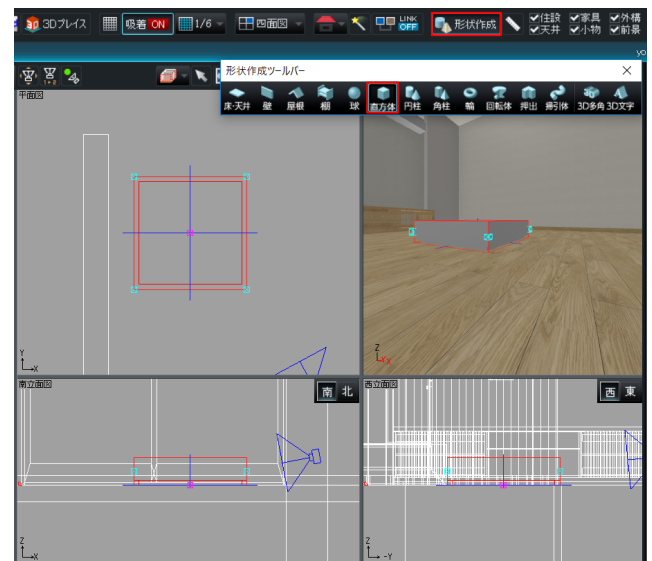


Step

リビングテーブルは簡単な形状なので、ここでは形状作成で作成します。（ソフトに登録されている家具パーツを利用してもよい）

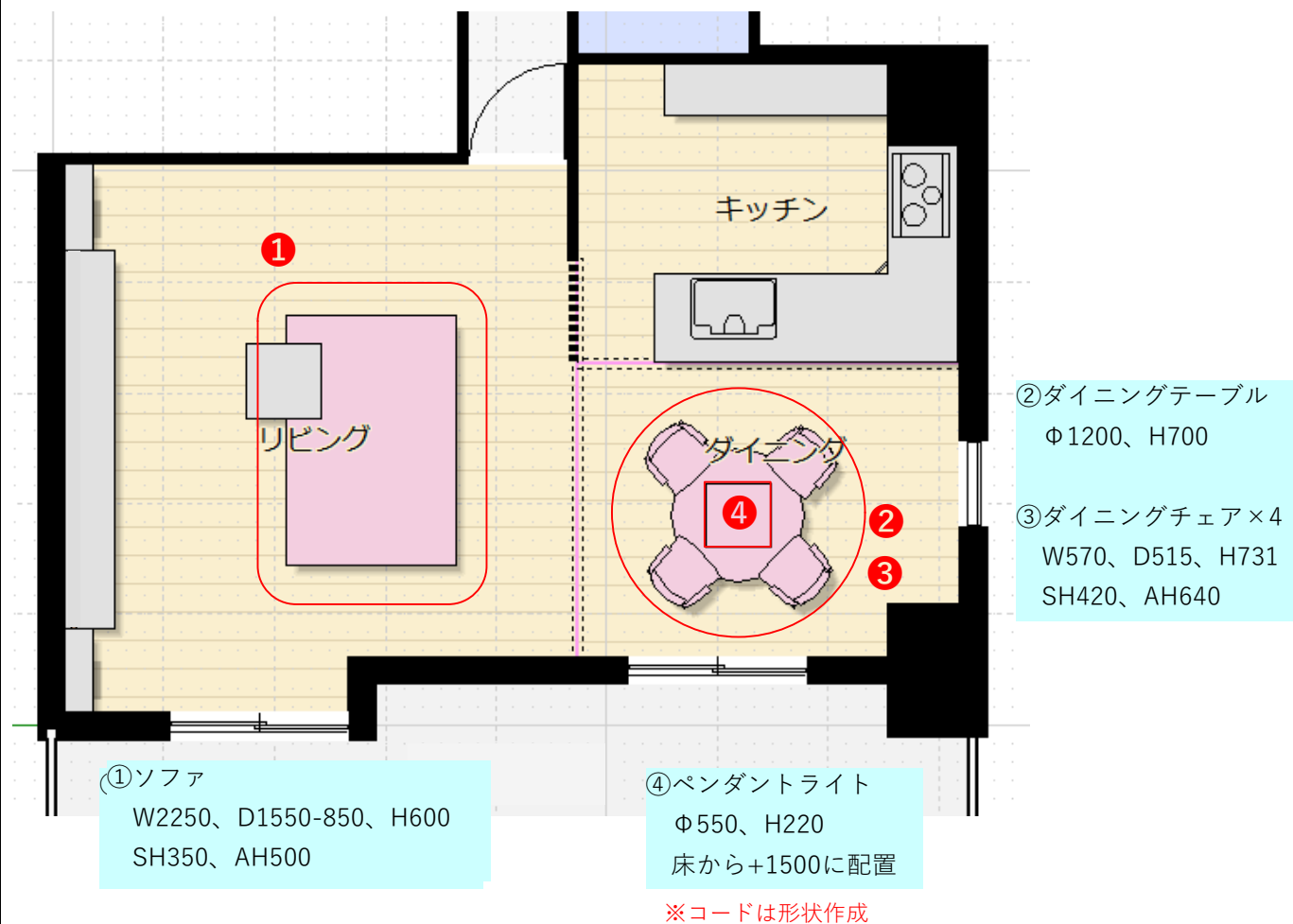
「形状作成」をクリックし、直方体を選択して、W620×D620×H30の直方体を作成し、その上にW680×D680×H140の直方体を、中心をそろえて配置します。

2つの直方体はグループ化しておきます。



## Step

配布されたパーツを読み込んで、配置します。



## Step

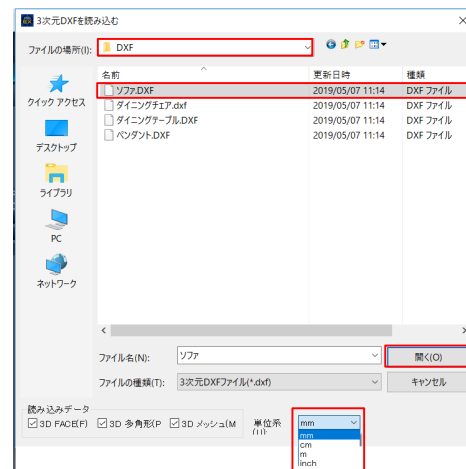
## DXFデータ読み込み

立体化画面で、ファイルメニュー>パーツを読み込む>3次元DXFを読み込むを選択します。

「3Dモデル」フォルダから、DXFデータを選択します。

※そのまま読み込むとサイズが大きすぎるので、サイズ指定が重要。**単位をmm**にすること。

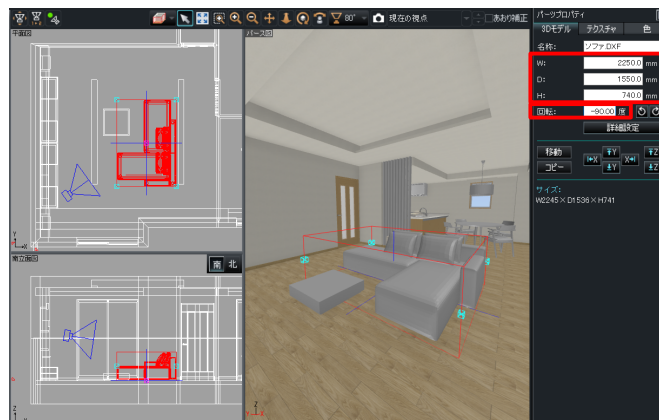
立体化画面に直接DXFデータをドラッグ&ドロップでも読み込み可能です。



## Step

立体化画面にDXFデータの読み込みができれば、家具の向きや位置を調整します。

三面図や四面図にすると、配置を確認しやすくなります。



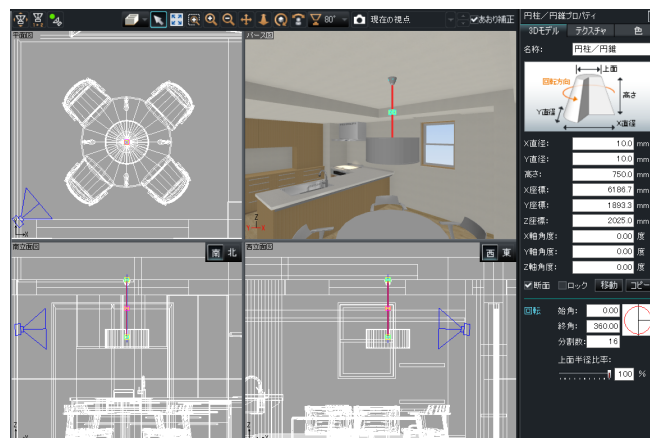
## Step

他のパーツも同様に配置します。



## Step

ペンダントライトのコードは、配布パーツにはないので、形状作成の円柱などで作成します。



## Step

照明器具を配置する

ライン照明

A 間接照明 天井用

E 間接照明 壁面用

形状作成で、光源とする細い  
円柱形状を作成

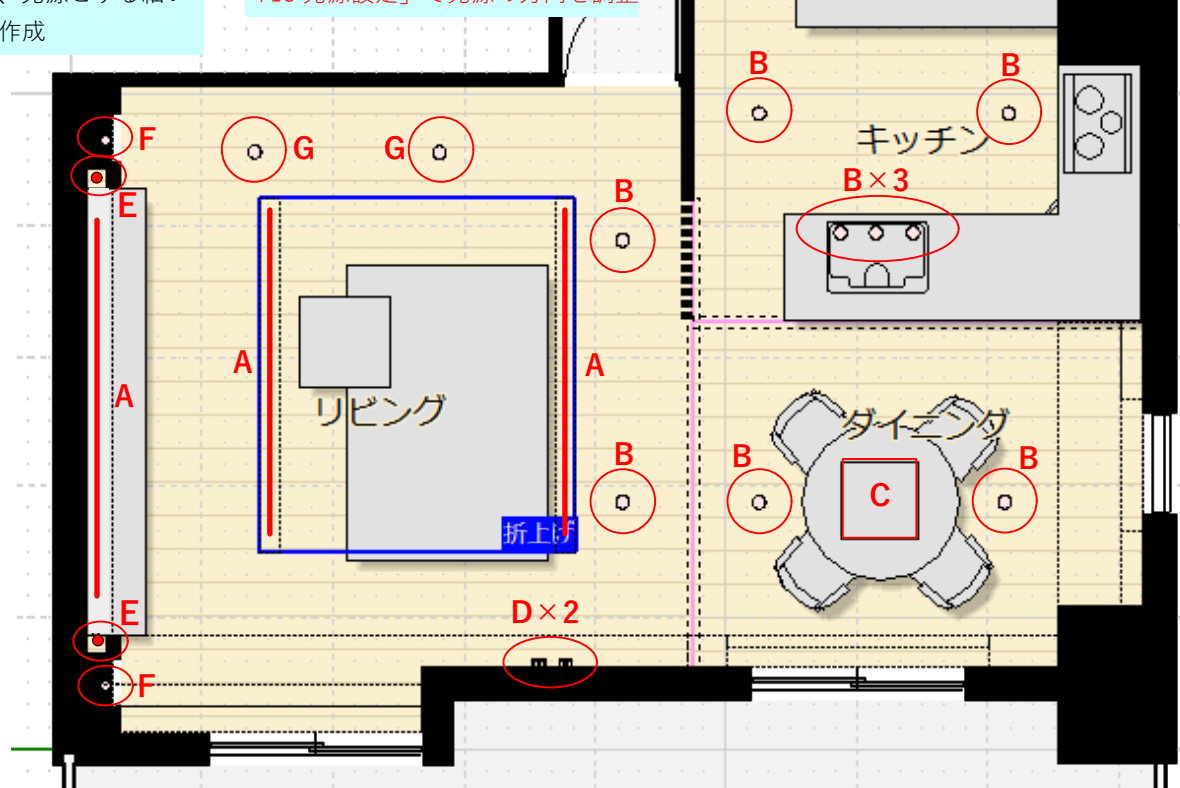
G ダウンライト

(ウォールウォッシャータイプ)

スポット・ダウンライト>  
ダウンライト

「13 光源設定」で光源の方向を調整

B ダウンライト：

スポット・ダウンライト  
>ダウンライト

F ダウンライト (小)

スポット・ダウンライト  
>ダウンライト

※飾り棚の中 FL+1550に配置

D ブラケットライト

壁付け&gt;ブラケット

W100、D65、H100

FL+1800程度に配置 (指定なし)

C ペンダントライト

ライトは「10 配布パーツ  
読み込み」で配置済み

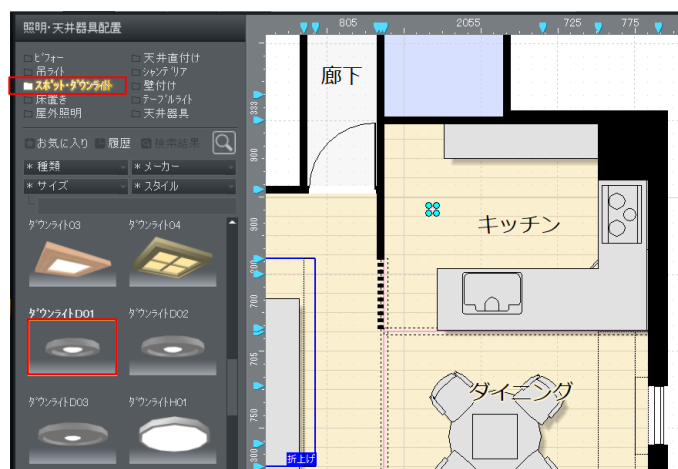
「13 光源設定」で光源を配置

## Step

パーツから照明器具を配置

ダウンライトは、「設備/家具/外構」の「照明・天井器具」  
>「照明・天井器具配置」の「スポット・ダウンライト」から  
適したものを選んで配置します。

ブラケットは姿図を参考に、モデリングを行うか、パーツを  
編集して配置します。

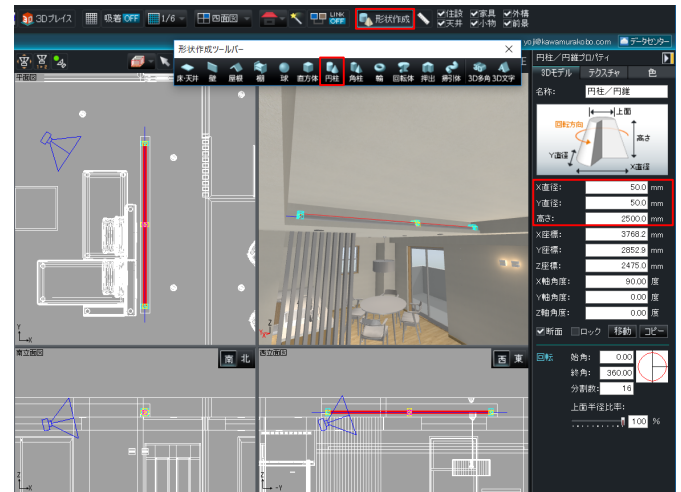


## Step

ライン照明は、パーツの蛍光灯で代用したり、点光源を並べて配置することでも表現できますが、ここでは形状作成で円柱を作成し、発光させて光源とする方法を紹介します。

(※Optimageでのレンダリングが必要です)

立体化画面で、形状作成>円柱 で柱状体を作成します。



## Step

作成した柱状体を発光させます。

「壁・床材」>色タブ>「発光」から色を選び、柱状体をクリックします。

柱状体を選択した状態で右クリックし、プロパティの「色タブ」>「発光」の数値を「100」にします。



## Step

リビングキャビネットの建築化照明も同様に作成します。



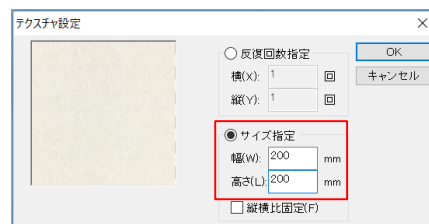
## Step

## テクスチャの読み込み（配布データ）

立体化画面で、内装＞壁・床材＞テクスチャタブ  
壁紙・床材などそれぞれのテクスチャに、配布されたテクスチャをドラッグ&ドロップします。

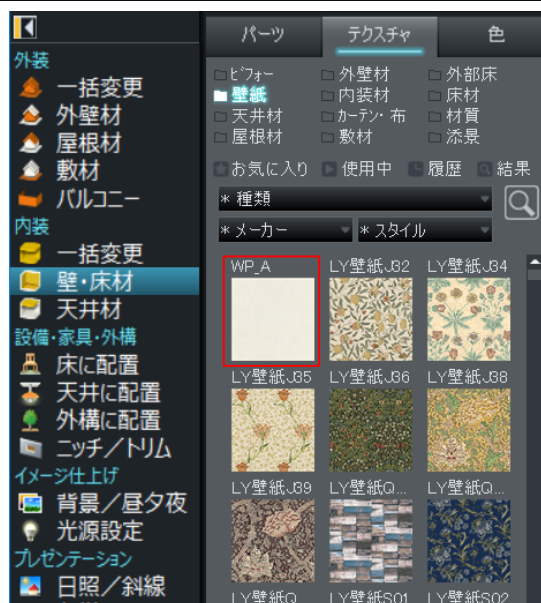


テクスチャ設定ウィンドウが表示されるので、取り込みサイズを指定します。



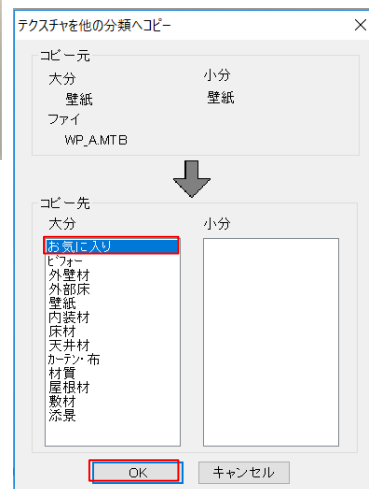
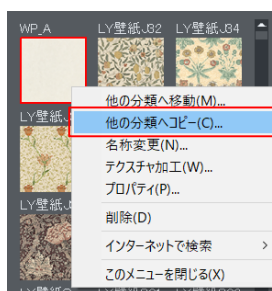
## Step

テクスチャの読み込みができました。



## Step

よく使うテクスチャは、テクスチャを選択して右クリック＞「他の分類へコピー」で、「お気に入り」などに入れておくと探しやすくなります。





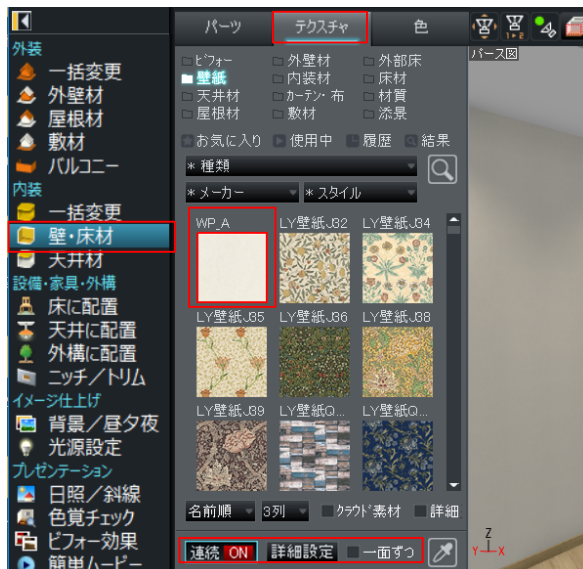
## Step

## テクスチャを貼る

内装＞壁・床材を選択し、テクスチャタブから使用したいテクスチャを選択します。

連続して貼り付けたい場合：連続ON

一面ずつ貼り付けたい場合：一面ずつにチェック



## Step

テクスチャを貼り付けたい部分にカーソルを当て、クリックします。

テクスチャの向きは、プロパティの回転角度を変更すると、貼り付け方向を変更できます。

貼付拡張を変更すると、指定した拡張範囲にテクスチャが反映されます。



## Step

## テクスチャの位置調整

床タイルの割付が指定されているので要注意（平面図参照）

タイル割付の調整方法

立体化画面でタイルコーナーの床を選択し、プロパティでテクスチャタブを選択し、位置調整で任意の数値を入力し、矢印で移動しながら起点に合わせます。



Step

テクスチャの境では位置調整が必要です。

Step

壁の一部に違うテクスチャを貼る

壁の一部に違うテクスチャを貼り分ける方法を説明します。

縦に貼り分ける方法と、横に貼り分ける方法があります。

Step

縦に貼り分ける方法

キッチン背面の壁のように、縦に貼り分けたい場合は、間取り画面で部屋を選択状態にして、貼り分けたい壁上の貼り分けたい位置にカーソルを合わせて右クリックし、頂点を挿入します。

頂点～頂点の間が一面になり、テクスチャを貼り分けられるようになります

## Step

立体化して、テクスチャパレット下の「一面ずつ」チェックボックスをオンにして、タイル壁のテクスチャを貼ります。



## Step

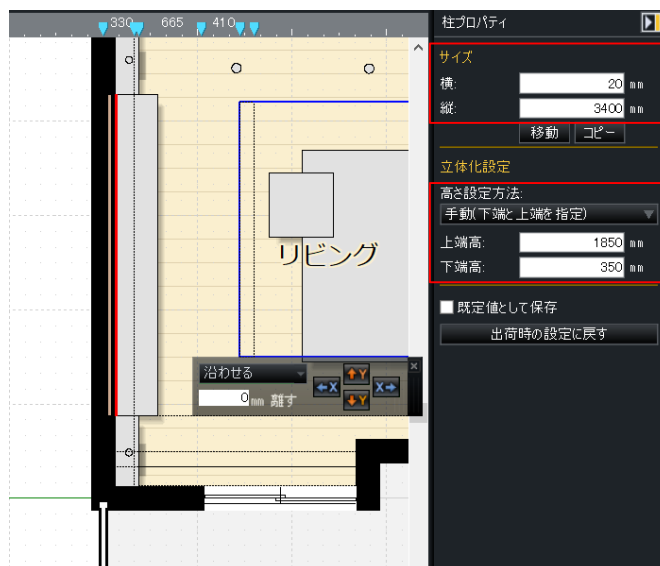
## 横に貼り分ける方法

リビングキャビネットのタイル部分は、四角柱でごく薄い板状の柱を作り、壁に沿わせることで対応します。

間取り画面で「壁編集／柱・梁」＞柱配置の「四角柱」を選択し、柱を壁に沿わせて配置します。



「柱のプロパティ」でサイズを指定し、高さ設定方法を「手動（下端と上端を指定）」にして、上端高と下端高を指定します。



## Step

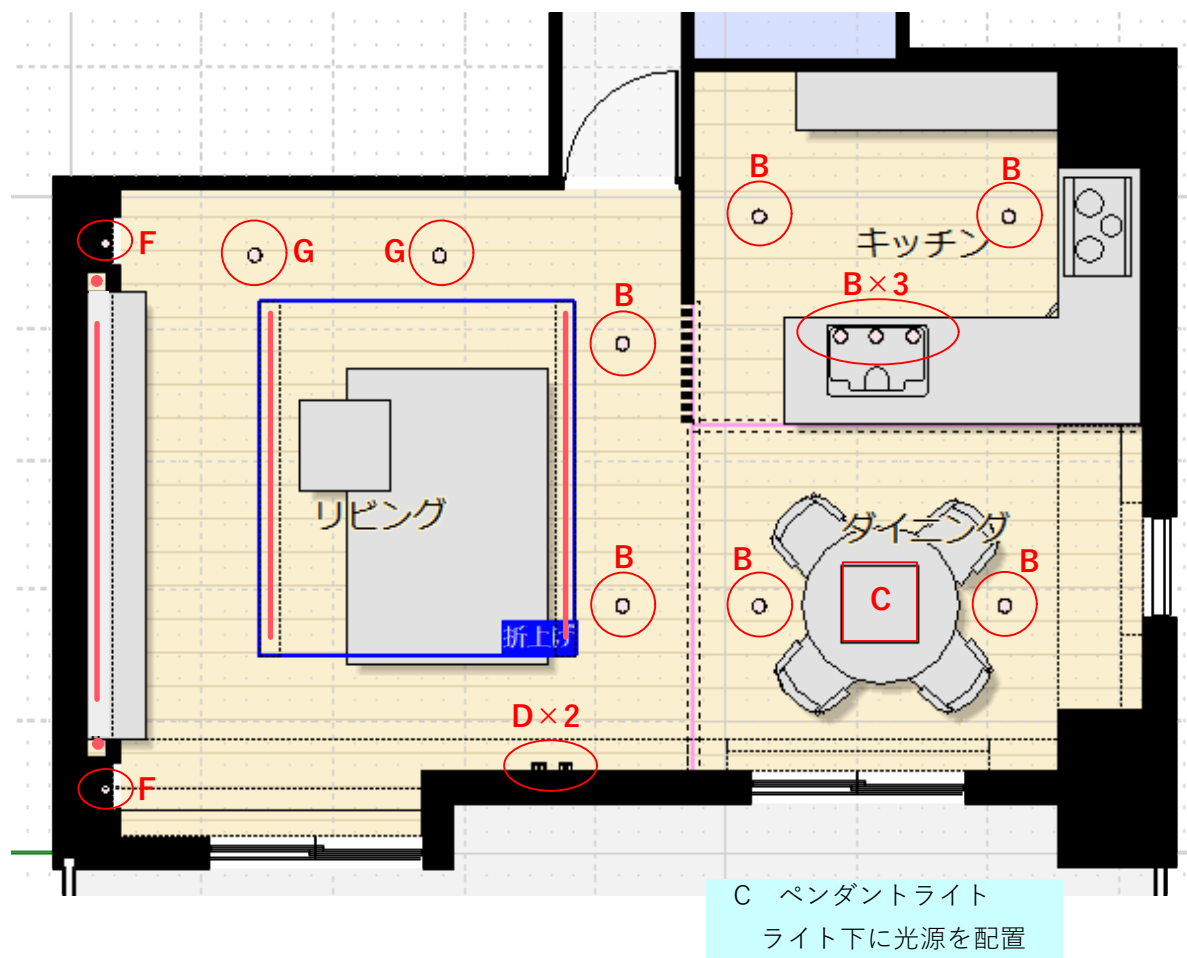
立体化して、タイル壁のテクスチャを貼ります。

※「形状作成」の「直方体」でごく薄い板状の形状を作成して、壁に沿わせて配置することでも、同様にテクスチャを貼り分けることができます。



## Step

指示に従い、光源を追加したり、光源の種類・向きなどを設定します。



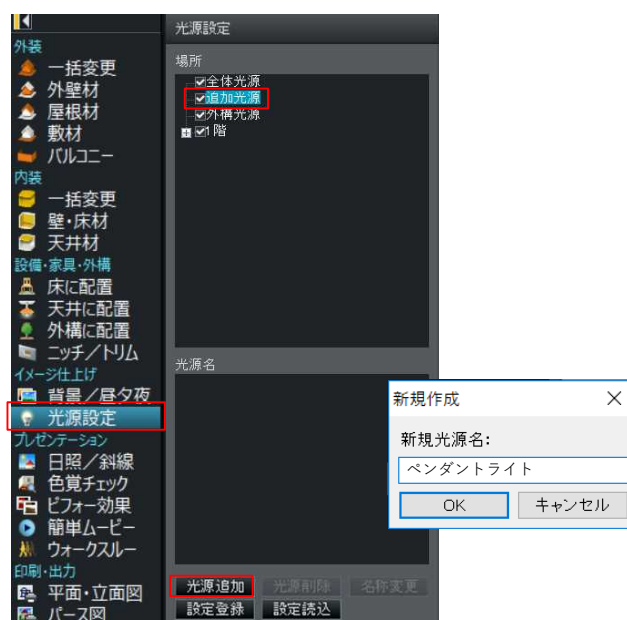
## Step

## 光源の追加

読み込んだペンダントライトのパーツには光源がないため、配置したパーツの下に、ペンダントライト用の光源を追加します。

立体化画面で、イメージ仕上げ>光源設定を選択します。

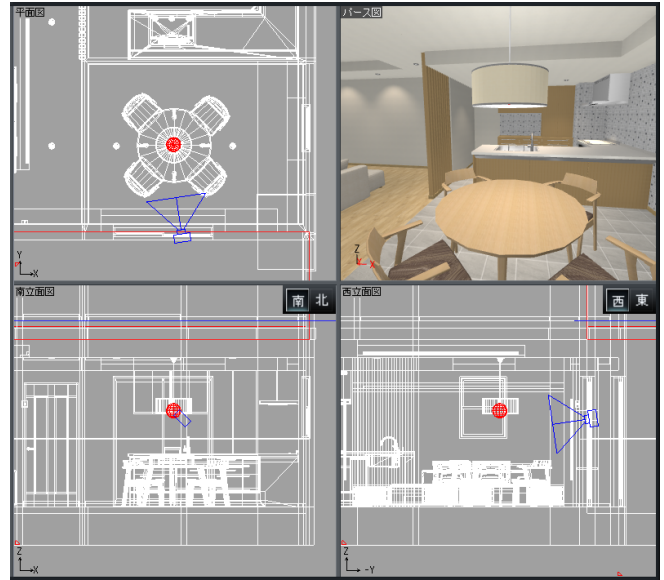
「追加光源」を選択し、「光源追加」をクリックします。  
新規光源名を入力してOKをクリックします。



## Step

光源の赤い○が出てくるので、光源を配置したい位置に移動します。

「レンダリング時に影をつくる」のチェックを外します。



## Step

## 光源の調整

プロパティで、光源の種類・色・明るさ・角度などを設定します。

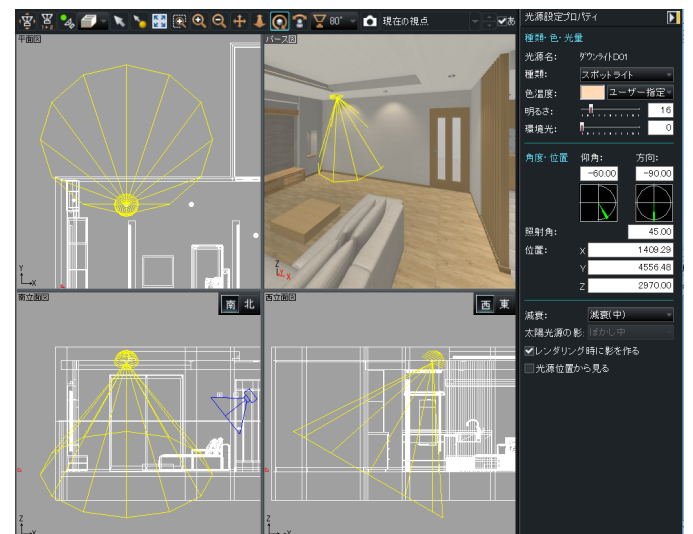
※主要光源以外は影なしにします。

「レンダリング時に影をつくる」のチェックを外します。



## Step

その他の光源も調整を行きましょう。





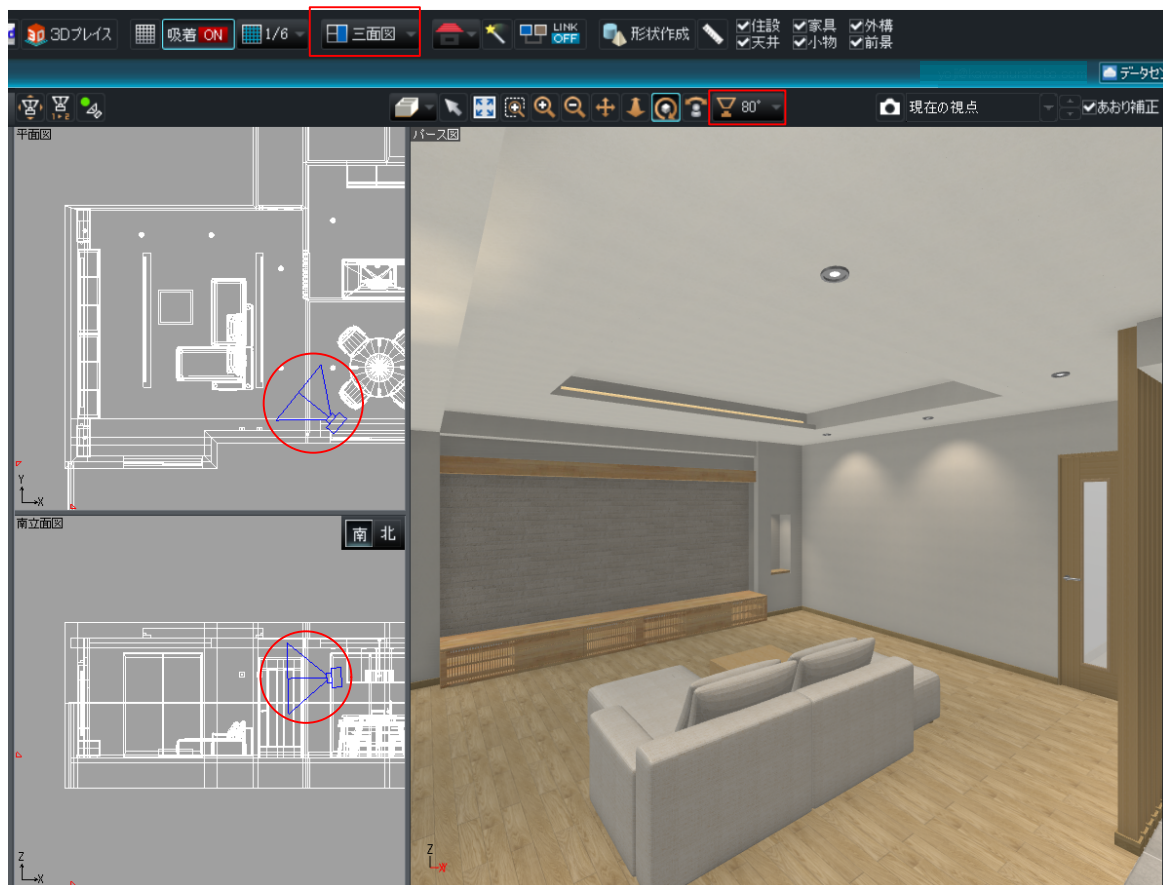
## Step

## パースアングル設定

矢印①～④で指定されたアングルで画面登録します。

立体化画面で、分割表示を3面図にします。

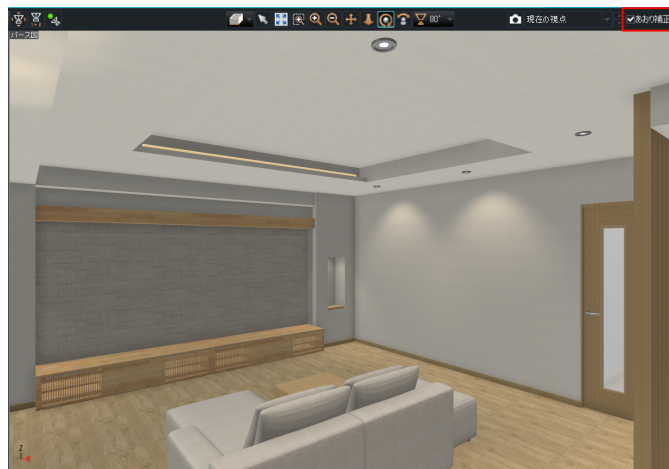
平面図と立面図に表示されたカメラを移動して、アングルを決めます。



## Step

## あおり補正

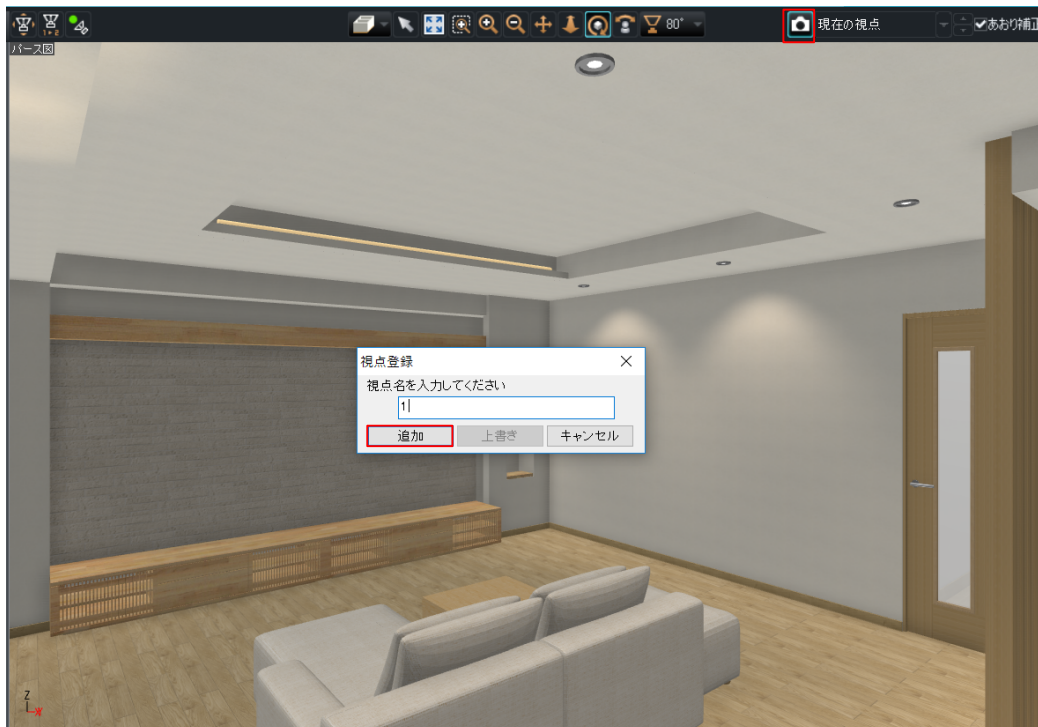
垂直の壁などは垂直に表示するため、右上の「あおり補正」にチェックを入れます。



## Step

## 視点登録

右上のカメラマークをクリックすると、現在の視点を保存することができます。  
視点に名前を付けて登録します。



## Step

## 方位の確認・上階のバルコニーの作成

2D画面の、設定メニュー>「方位設定」  
角度を「-45」となっていることを確認する。

上階のバルコニーが日射しに影響する場合は、上階のバルコニーを作成する。



## Step

## 季節・場所・日時設定

立体化画面で、プレゼンテーション>「日照／斜線」を選択します。

日当たりチェックタブを選択し、季節・場所・時間を設定します。

- ・季節：春・秋
- ・所在地：東京
- ・時刻：13時



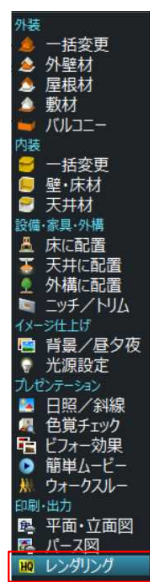
## Step

## レンダリング

立体化画面で、レンダリングしたいパースを表示させて、印刷・出力>「レンダリング」を選択します。

レンダリング方法：「レイトレースレンダリング」にチェックを入れて「次へ」をクリックします。

各種設定を行い、「開始」ボタンを押します。

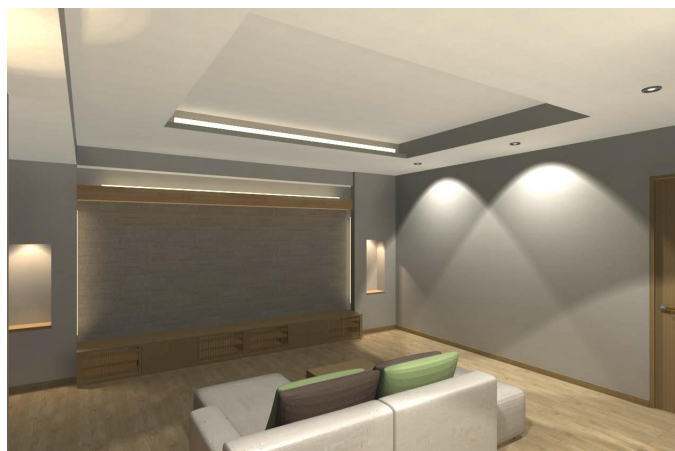




## Step

基礎課題完成パース画像例

①リビング



②リビングからダイニングとキッチンを見る



③キッチンからダイニングとリビングを見る



④リビングからダイニングを見る



- ・問題文をよく読み、応用課題の求める内容をよく理解しましょう。

応用課題：ラグ、ウインドートリートメント、TV、冷蔵庫などの添景、インテリア小物、アート、グリーン、人物

- ・基礎課題で作成した家具・照明器具などの変更は認められていません。（追加することは可）
- ・インテリアスタイルを統一する（和風ナチュラル）
- ・提出データのファイル名は指示されたものにする



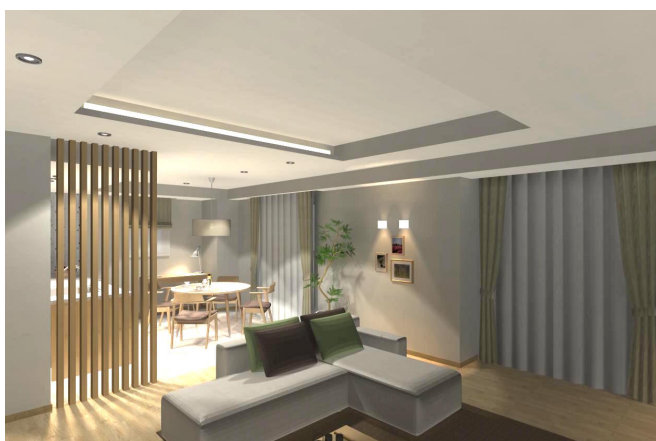
ラグ ※サイズ・テクスチャのみ指定  
TV、インテリア小物、アート、追加の家具など



ウインドートリートメント（シェード／ドレープ・レース）  
※テクスチャのみ指定  
ラグ ※サイズ・テクスチャのみ指定  
冷蔵庫などの家電、インテリア小物、追加の家具・照明など



ウインドートリートメント（レギュラースタイルカーテン） ※テクスチャのみ指定  
人物、インテリア小物、アート、グリーンなど



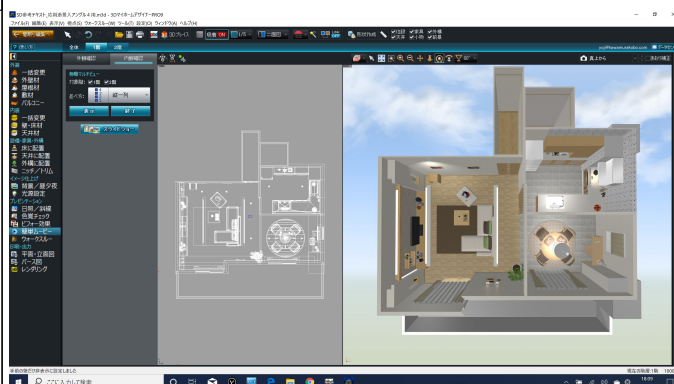
ウインドートリートメントは、間取り編集画面で、画面建具／カーテン＞カーテンからパーツを選んで配置し、指定のテクスチャを貼ります。立体化画面で、カーテンボックスの納まりなどを確認し、サイズや配置位置を調整します。

## Step

3DマイホームデザイナーPRO9EXを起動  
(3DインテリアデザイナーNeo3)

3DマイホームデザイナーPRO9EX (3DインテリアデザイナーNeo3 以下略) には「プレゼンボードデザイナー」というプレゼンボードを作成するソフトがついています。

3DマイホームデザイナーPRO9EXの画面から呼び出すことができ、作成中の間取り図やパース図を自動で取り込むことができるので、作業がスムーズにできます。

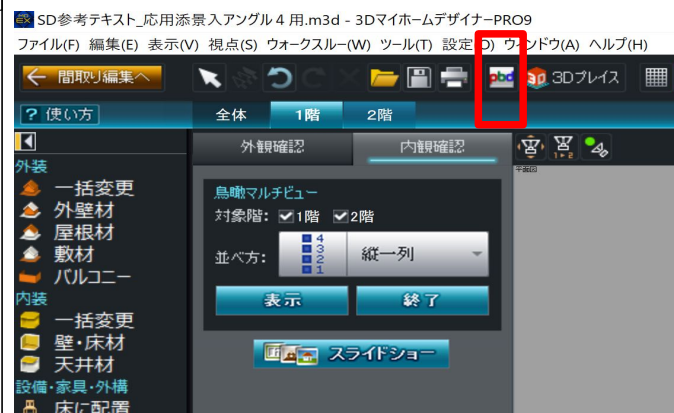


## Step

プレゼンボードデザイナーを起動

3DマイホームデザイナーPRO9EXを起動し、メインメニューの「ファイルを開く」を選択し、課題で作成したファイルを開きます。

画面上ツールバーの「プレゼンボードデザイナーを起動」をクリックします。



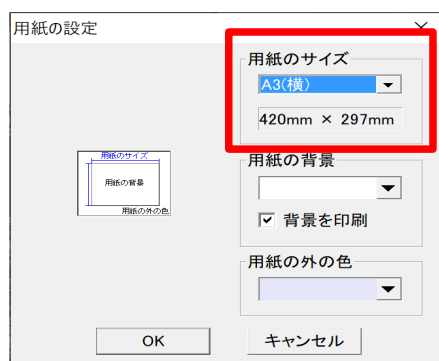
## Step

起動メニュー

起動メニューが表示されます。

「白紙の状態から作成する」を選びます。

用紙サイズはA3で「OK」をクリックします。



## Step

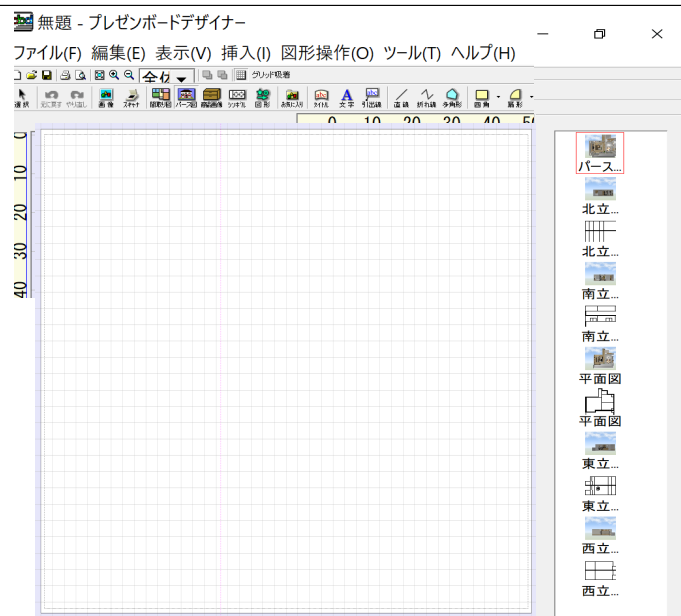
## インターフェイス

白紙のプレゼンボードが開きました。

一番上はメニューバーになっていて、ここから操作を選ぶことができます。

その下はツールバーで操作がボタン一つで呼び出せるように用意されています。

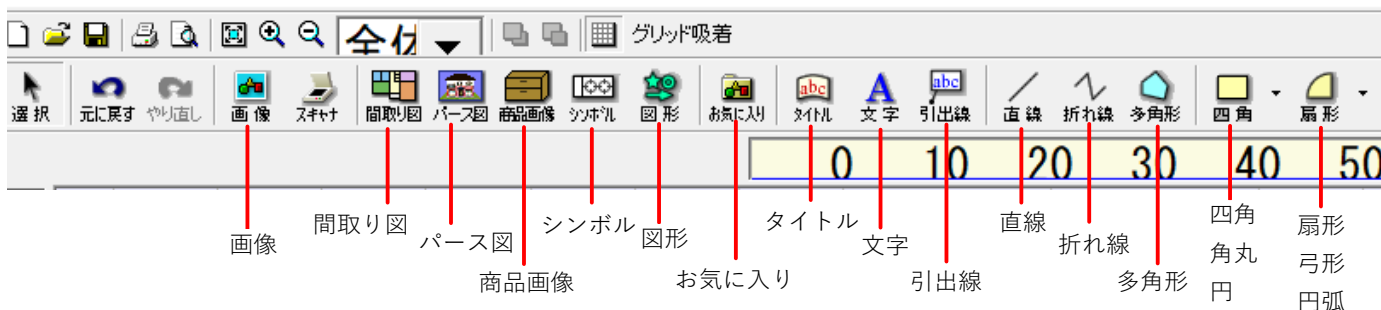
ボタンを押すと画面右側パレットにコンテンツなどが表示されます。



## Step

## ツールバー

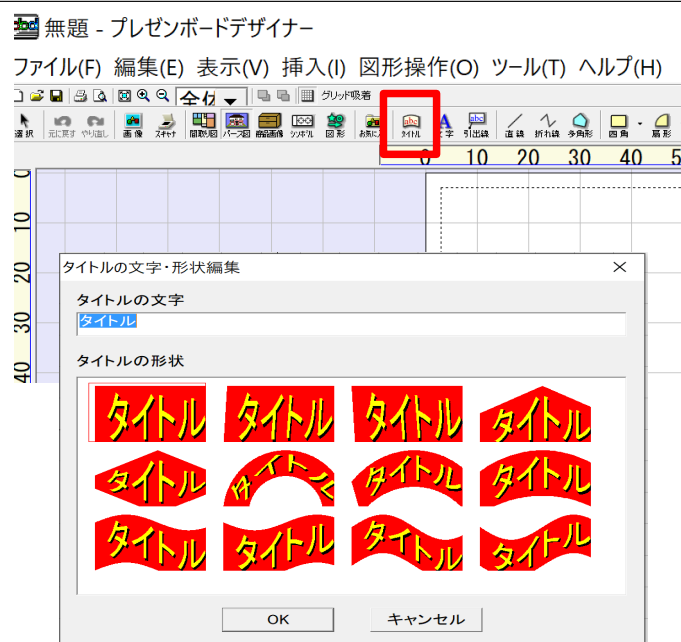
## ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 挿入(I) 図形操作(O) ツール(T) ヘルプ(H)




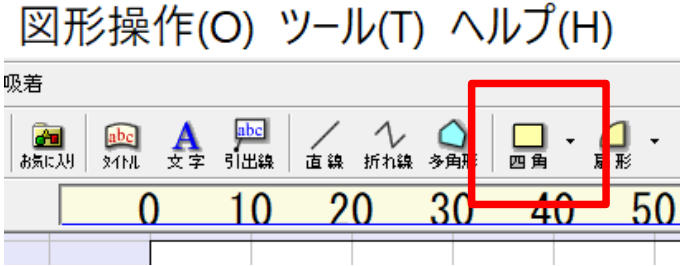
## Step


## タイトル

1. 画面上ツールバーの「タイトル」をクリックし、文字を入力するエリアをドラッグして指定します。
2. タイトルの文字・形状編集画面が表示されます。タイトルの文字を入れて形状を選択してOKをクリックします。



Step	タイトルの色の変更
<p>作成したタイトルをクリックして選択すると、画面右側のパレットに、フォントの種類や文字色、文字枠の色などの設定画面が表示されます。</p> <p>パレットの「枠内塗り」で色の部分をクリックし、色パレットから色を選んで変更できます。</p>	
	

Step	円を描く
<p>ツールボタンの「四角」の右横の▼ボタンを押して●円を選び、キャンバスでドラッグして円を描きます。パレットで円の枠線と色を変更できます。</p>	
	

Step	図形
<p>プレゼンボードを装飾するためのコンテンツも用意されています。</p> <p>ツールボタンの「図形」をクリックしパレットの種類を選び、配置したいコンテンツをドラッグして配置します。</p>	
	



Step	ひな型として保存
<p>プレゼンボードでは、このように図形や文字などを配置してオリジナルのひな型を作成し保存することができます。</p> <p>画面左上メニューの「ファイル」－「ひな型として保存」を選び、ファイル名をつけて保存します。</p>	
<div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px;"> <div style="background-color: #e6f2ff; padding: 2px;">ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 挿入(I) 図形操作(O) ツール(T)</div> <div style="padding: 2px;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>白紙から新規作成(N)...</span> <span>Ctrl+N</span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>ひな型から新規作成(T)...</span> <span></span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>開く(O)...</span> <span>Ctrl+O</span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>上書き保存(S)</span> <span>Ctrl+S</span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>名前を付けて保存(A)...</span> <span></span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>ひな型として保存(I)...</span> <span></span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>イメージ保存(H)...</span> <span>Ctrl+I</span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>物件情報の設定(I)...</span> <span></span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>用紙の設定(U)...</span> <span></span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>プリンタの設定(R)...</span> <span></span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>印刷プレビュー(V)</span> <span></span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>印刷(P)...</span> <span>Ctrl+P</span> </div> </div> </div>	

Step	ひな形から新規作成
<p>オリジナルのひな型を開くときには、メニューの「ファイル」－「ひな形から新規作成」を選びます。</p> <p>「ユーザーが作ったひな型」タブをクリックすると、保存したひな型が表示されますのでここから選びます。</p>	
<div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px;"> <div style="background-color: #e6f2ff; padding: 2px;">ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 挿入(I) 図形操作(O) ツール(T)</div> <div style="padding: 2px;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>白紙から新規作成(N)...</span> <span>Ctrl+N</span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>ひな型から新規作成(T)...</span> <span></span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>開く(O)...</span> <span>Ctrl+O</span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>上書き保存(S)</span> <span>Ctrl+S</span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>名前を付けて保存(A)...</span> <span></span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>ひな型として保存(I)...</span> <span></span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>イメージ保存(H)...</span> <span>Ctrl+I</span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>物件情報の設定(I)...</span> <span></span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>用紙の設定(U)...</span> <span></span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>プリンタの設定(R)...</span> <span></span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>印刷プレビュー(V)</span> <span></span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>印刷(P)...</span> <span>Ctrl+P</span> </div> </div> </div>	

Step	ユーザーが作ったひな型
<p>「ユーザーが作ったひな型」タブをクリックすると、保存したひな型が表示されますのでここから選びます。</p>	
<div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px;"> <div style="background-color: #f0f0f0; padding: 2px;">ひな型を元 to 作成</div> <div style="padding: 2px;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>サンプルのひな型</span> <span>ユーザーが作ったひな型</span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>用紙</span> <span>A3(横)</span> </div> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap; padding: 10px;"> <div style="border: 1px solid #ccc; width: 30%; height: 150px; margin: 5px; position: relative;"> <div style="position: absolute; top: 5px; right: 5px; background-color: #fff; padding: 2px;">横01.pbf</div> </div> <div style="border: 1px solid #ccc; width: 30%; height: 150px; margin: 5px; position: relative;"> <div style="position: absolute; top: 5px; right: 5px; background-color: #fff; padding: 2px;">横02.pbf</div> </div> <div style="border: 1px solid #ccc; width: 30%; height: 150px; margin: 5px; position: relative;"> <div style="position: absolute; top: 5px; right: 5px; background-color: #fff; padding: 2px;">横03.pbf</div> </div> </div> </div> </div>	

Step	整列
<p>図形や画像などのオブジェクトを「整列」させることができます。</p> <p>整列したい画像を「CTRL」キーを押しながら選択して、右クリックメニューの「整列」を選びます。どのように整列したいかを選んで画像を整列させます。</p>	

Step	前後関係の変更
<p>図形や画像などのオブジェクトは、あとから配置したものが上に重なります。重なる順序を変更するには、変更したいオブジェクトを選択して右クリックし「最前面に移動」、「前面に移動」、「最背面に移動」の中から選択し、前後関係を変更します。</p>	

Step	配置した図をロック
<p>ここまでに配置した図が動かないようにロックします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>図面の左上から右下にドラッグし配置した図を囲み複数選択します。</li> <li>次に図を右クリックし「ロック操作」－「ロック」を選択します。</li> <li>図がロックされ、選択できないようになります。</li> </ol> <p>ロックを解除するにはShiftキーを押しながらクリックし、次に右クリックし「ロック操作」の「ロック解除」を選びます。</p>	



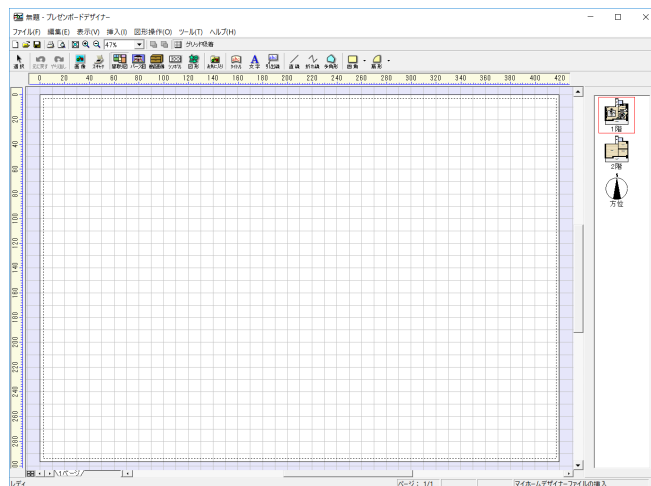
## Step

## プレゼンボード制作

3DインテリアデザイナーNEOを起動し、課題で作成したファイルを開きます。

画面上ツールバーの「プレゼンボードデザイナーを起動」をクリックします。

メインメニューの白紙の状態から開きます。



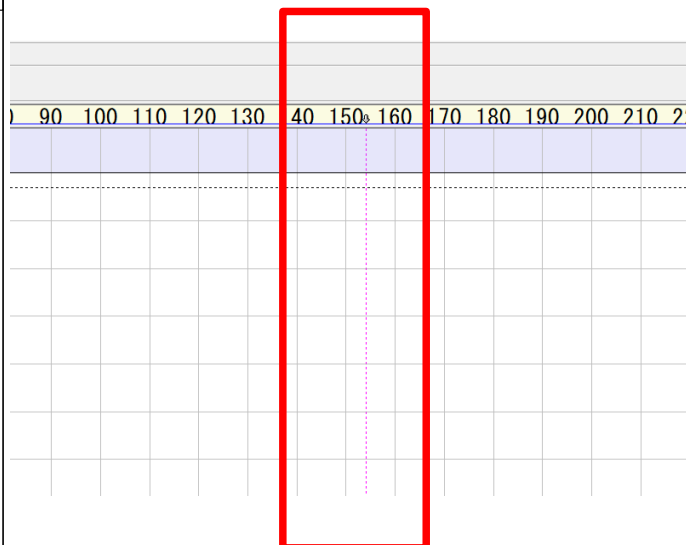
## Step

## ガイド線

あらかじめガイド線を引いてから作業をおこなうと作業がしやすいです。  
ガイド線は画面上と左のメモリ部分をクリックすると追加できます。

削除する場合は、ガイドをメモリ上で右クリックし削除します。

移動する場合は、ガイドをクリックしながらドラッグして移動します。

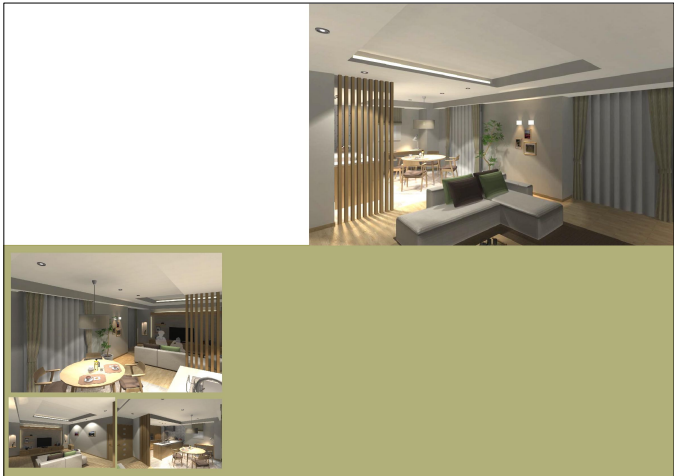



## Step


## 四角形で画面を分割

仕上がりをイメージして、四角形などで画面を分割します。



Step	パースを配置
<p>ツールバーの「パース図」をクリックすると、3D画面で表示されていた状態のパース図と、各方向からの立面図が表示されます。</p> <p>イメージ保存したパースも読み込んで配置します。</p> <p>ここから配置する場合は、パレットの希望の図を図面までドラッグして配置し、画像のサイズを調整します。</p> <p>ここでは課題で作成したパースと、基礎課題で指示されたアングルまたはインテリアを表現するのにふさわしいアングルで作成したパースを使用します。</p> <p>画像の縦横比を変えないように注意しましょう。図の角をドラッグすると縦横比は変わりません。</p>	
	

Step	画像を配置
<p>ツールバーの「画像」をクリックします。</p> <p>画像は3Dマイホームデザイナーで保存したイメージ図や写真などのデータを取り込むことができます。</p>	
	

Step	商品画像を配置
<p>「商品画像」を取り込んで配置します。</p> <p>1. 画面上ツールバーの「商品画像」をクリックします。ここに表示されている画像は3DインテリアデザイナーNEOのパーツに設定されている画像です。配置すると商品画像とともに商品の詳細が表示されます。</p> <p>このとき、文字量が多いときは、右クリックして「文字編集」を選び、文字を削除して調整します。</p> <p>2. 右側のパレットから画像を選択して配置します。</p> <p>3. 商品画像を配置して、画像と商品の詳細のサイズと配置場所を調整してレイアウトします</p>	
	

Step	タイトルやコンセプトに文字を入れる
------	-------------------



1. 画面上ツールボタンの[文字]をクリックし、入力する場所をドラッグします。
  2. コンセプトを入力します。
  3. 画面右側パレットで、文字サイズを変更します。文字色を変更します。
  4. 「枠内塗り」を透明に変更します。
- 全体の位置を調整して完成です。

Step	ファイル名をつけて保存
<p>完成したプレゼンボードを保存します。 画面上メニューの「ファイル」－「名前を付けて保存」を選びます。</p> <p>ファイル名をつけて保存する際には、物件情報や施主情報、 担当者情報など各種情報を入力することができます。</p> <p>また、このボード自体を画像として保存することができます。</p> <p>画面上メニューの「ファイル」－「イメージ保存」を選択し、 名前を付けて保存します。 ファイル形式はビットマップファイルかJpegファイルのいずれ かを選択することができます。</p>	